

(様式第9)

東北病医 第521号
平成24年10月 5日

東北厚生局長 殿

東北大学病院長
下 瀬 川 徹

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	110.08 人
--------	----------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	378人	156人	527.6人	看護補助者	120人	診療エックス線技師	人
歯科医師	97人	75人	165.6人	理学療法士	24人	臨床検査技師	97人
薬剤師	80人	1人	80.7人	作業療法士	7人	衛生検査技師	3人
保健師	人	人	人	視能訓練士	12人	その他	人
助産師	59人	2人	60.7人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	1059人	20人	1072.4人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	21人
准看護師	5人	0人	5.0人	栄養士	人	その他の技術員	109人
歯科衛生士	6人	12人	16.2人	歯科技工士	7人	事務職員	307人
管理栄養士	13人	0人	13.0人	診療放射線技師	64人	その他の職員	85人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,031.8人	20.7人	1,052.5人
1日当たり平均外来患者数	2,250.5人	549.3人	2,799.8人
1日当たり平均調剤数	1,304.9剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	1人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	1人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	4人
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	2人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	1人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する生体ドナーからの小腸部分移植	0人
インプラント義歯	1人
顎顔面補綴	1人
人工括約筋を用いた尿失禁手術	9人
腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	2人
先天性難聴の遺伝子診断	0人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	46人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	1人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにベバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	3人
低出力体外衝撃波治療法 虚血性心疾患(薬物療法に対して抵抗性を有するものであって、経皮的冠動脈形成術又は冠動脈バイパス手術による治療が困難なものに限る。)	5人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	120人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは1/3、残りの2/3はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、3+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	57人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。また脳腫瘍に関しては、乏突起膠細胞腫における特異的な遺伝子変化が、組織診断の確定のみならず治療効果に関係しており、診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	高精度生体計測法(超音波生体顕微鏡):動脈硬化症および血管炎における動脈壁内部の組織ならびに機能変化の非侵襲的高精度計測	取扱患者数	150人
当該医療技術の概要			
超音波を利用して血管壁における複数の計測点の動きを追跡し、そのトラッキング波形の差から血管壁の組織性状を非侵襲的かつ定量的に診断する。これまでの検討から、本測定法は微細な変化を評価できることが明らかにされており、早期の動脈硬化診断や薬剤の治療効果判定に有用であると考えられている。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
BSWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	内視鏡的粘膜切開剥離法	取扱患者数	202人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			

医療技術名	高度進行肝細胞癌に対する集学的動注化学放射線療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 新規分子標的薬の使用を含め、総合的な治療技術の集積が必要である。			
医療技術名	肝臓に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 肝臓におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	1236人
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術を行っている。			
医療技術名	高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療を行っている。			
医療技術名	気道狭窄に対する内ステント留置術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 気道狭窄に対してシリコンステントあるいはメタリックステントを留置し、狭窄改善する。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員採取した細胞を分離し、凍結保存する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			
医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	46人
当該医療技術の概要 腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。リンパ行性微小転移の同定に有用な方法で有り、病期判定と治療方針の決定に有用である。地域では東北大学が主たる技術提供施設である。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	104人
当該医療技術の概要 テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			

医療技術名	狭心症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋血流と狭心症症状の軽減を目的とする。			
医療技術名	急性心筋梗塞に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋梗塞慢性期の心不全増悪抑制を目的とする。			
医療技術名	下肢閉塞性動脈硬化症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
体外衝撃波発生装置を用いて下腿の虚血部位の筋肉に対し、0.05mJ/mm ² 程度の衝撃波を照射します。照射は1回8000発の照射を週に3回、3週連続で行っています。9回の照射で合計72000発を照射しています。両名とも歩行距離の延長が見られ、治療に付随する合併症もなく経過観察期間を終了しています。			
医療技術名	精神病発症危険群に対する早期介入	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
精神病発症危険群のための評価尺度CAARMSを用いた診断を行い、精神病発症危険に向けた認知行動療法などのガイドラインにしたがった治療を実施し、精神病発症の予防および発症後の早期介入による予後改善を図る。			
医療技術名	放射免疫療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
抗CD20モノクローナル抗体に、放射性同位元素 ⁹⁰ Yを結合。抗体の体内分布が適切な患者に投与する。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
同種、血縁、非血縁の骨髓幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	腸管不全に対する多角的治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
サイクリックTPN、ω3系脂肪製剤の使用による腸管不全に伴う肝障害の予防および治療。成長ホルモンや新規ビフィズス菌投与によるプロバイオティクスによる腸管機能改善。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
高度難聴者の聴覚再獲得のために、人工内耳埋め込み術と聴覚のリハビリテーションを行っている。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注(採取)	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
造血幹細胞移植後に発生した白血病再発治療を目的として、ドナーより採取したリンパ球が患者に輸注される。リンパ球はドナーの末梢血液を連続的に体外循環させ、リンパ球分画より採取する。			
医療技術名	白血球除去(白血病細胞アフェレーシス)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
化学療法に先行する形で、白血病患者末梢血中で極端に増殖した白血病細胞を、患者末梢血液を体外循環させながら排除する操作である。			

医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ABO・Rh(D)血液型不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフエレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(血漿除去)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 ABO血液型不適合骨髄移植の際に、患者由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄から遠心操作により血漿を除去する操作である。			
医療技術名	リンパ管静脈吻合	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 ICG赤外線カメラ蛍光造影にてリンパ管を同定し、四肢リンパ浮腫に対しマイクロ下にリンパ管と静脈を吻合する。			
医療技術名	治療抵抗性統合失調症患者へのクロザリルによる治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 クロザリルは、治療抵抗性統合失調症患者における有効性が確認されているが、無顆粒球症、好中球減少症等の重度の副作用が発生する可能性があり、血液モニタリングを要する。看護師、薬剤師、及び血液内科医等と連携をとりつつ治療にあっている。			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要 稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末期重症心不全患者に対する集学的外科治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 内科的薬物療法では救命できない重症心不全の患者さんに対し、植込型補助人工心臓装着(認定施設限定/東北地方唯一)、及び脳死ドナーからの心臓移植(認定施設/東北地方唯一)を含めた集学的外科治療を行う。			
医療技術名	胸腹部大動脈瘤手術時における多角的な脊髄保護療法	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術の際の重篤な合併症である脊髄梗塞による対麻痺を予防するために、術前の脊髄灌流動脈の同定、脳脊髄液ドレナージ、硬膜外腔冷却、選択的肋間動脈灌流など多角的治療を行う。			
医療技術名	感染性心臓大血管疾患に対する凍結保存ホモグラフトを用いた外科治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 通常的人工血管人工弁を使用する従来の方法では、根治困難な感染性心臓大血管疾患(感染性心内膜炎、感染性大動脈瘤、人工弁感染、人工血管感染など)に対し、凍結保存ホモグラフト(同種組織移植)を用いて置換を行う。			
医療技術名	成人先天性心疾患に対する集学的治療	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 成人期に達した先天性心疾患患者の治療を小児循環器科医、成人循環器内科医、心臓血管外科医、さらには放射線科医、産婦人科医と協働で治療にあたり、先天性心疾患患者の長期予後の改善とQOLの改善を図る。			
医療技術名	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 骨塩定量ファントムとともに対象骨のCTを撮影し、データをワークステーションに入力、有限要素解析のプログラムによって処理する。これにより、患者固有の三次元骨モデルが作成され、これをもとに3次元有限要素解析モデルを作成。この解析モデルに対して、現実の加重条件を模擬した加重・拘束条件を与えて応力・歪みを解析し、破壊強度を計算・算出する。			
医療技術名	顆粒球採取	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 重症感染症治療を目的として、健康人血縁ドナー末梢血を連続的に体外循環させ、顆粒球分画を採取する。患者に輸注する前に放射線照射を行う。			

医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			
医療技術名	非血縁ドナー同種末梢血幹細胞採取術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
骨髄バンクドナーにおいて、循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取する。			
医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法 (IMRT)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			
医療技術名	微小片皮膚移植とエキシマライト併用による白斑治療	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
皮膚色素細胞機能不全もしくは減少に起因する白斑疾患に対する治療法である。特に分節型白斑症に適応となる。微小片皮膚移植とエキシマライトのそれぞれが白斑に対して医学的効果を有することが認められているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や併用療法の治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による白斑治療	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要			
皮膚色素細胞機能不全もしくは減少に起因する白斑疾患に対する治療法である。特に非分節型と汎発型白斑症に適応となる。ステロイドパルス療法が白斑に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	経静脈的ステロイドパルス療法による円形脱毛症治療	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
自己免疫性・炎症性反応に起因する脱毛性疾患に対する治療法である。特に急速進行の多発型、全頭型、全身型の脱毛症に適応となる。ステロイドパルス療法が脱毛性疾患に対して医学的効果を有することが海外を含めて報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	関節炎症状を伴う乾癬に対するメトトレキサートと分子標的薬併用療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
関節炎症状から関節変形をきたしうる乾癬患者に対し、分子標的薬の効果減弱や二次無効を抑制するために行われる治療法。医学的効果を有することが海外で報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	附属器疾患に対する光学療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
瘻瘡等の附属器疾患における常在菌含有蛍光に吸収波長をもつ青色光を照射することで、抗炎症作用による治療を行う。医学的効果を有することが海外で報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	肥厚性瘢痕・ケロイドのCO2フラクショナル・レーザー療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
フラクショナル・レーザーを用いて、肥厚性瘢痕・ケロイドの再瘢痕化をきたさない程度の超微小皮膚欠損を作成し、容積減少を試みる治療法である。医学的効果を有することが海外で散発的に報告されているが、日本では普遍化されていない医療。適応疾患の選択や治療時期の判定など、医療治療技術の人的・物理的集積が必要である。			
医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			

医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頸部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			
医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	視神経脊髄炎に対する単純血漿交換療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 視神経脊髄炎は抗アクアポリン4抗体が関与する自己免疫疾患であり、急性期にはステロイドパルス治療が施さされるが予後不良ことが多い。急性期の単純血漿交換療法の併用は再発症状の回復を促し、予後改善に繋がることが報告されている。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や瘢痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置(PAP,PLP,顎義歯)を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	骨延長術(歯槽骨延長)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 インプラント埋入を前提とした高度の歯槽骨萎縮症例に対し、歯槽骨骨切り延長装置を埋入し、顎堤形成を行う術式。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	160人
当該医療技術の概要 従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えず治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	77人
当該医療技術の概要 歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、義歯の作成、開口訓練、摂食・嚥下指導を行い、口腔の機能回復を図る治療			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	114人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	265人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	151人	・原発性胆汁性肝硬変	114人
・全身性エリテマトーデス	458人	・重症急性膵炎	14人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	82人
・再生不良性貧血	57人	・混合性結合組織病	60人
・サルコイドーシス	295人	・原発性免疫不全症候群	29人
・筋萎縮性側索硬化症	88人	・特発性間質性肺炎	95人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	259人	・網膜色素変性症	73人
・特発性血小板減少性紫斑病	128人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	63人	・肺動脈性肺高血圧症	86人
・潰瘍性大腸炎	464人	・神経線維腫症	37人
・大動脈炎症候群	96人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ピュルガール病	32人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	28人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	37人
・脊髄小脳変性症	144人	・ライソゾーム病	10人
・クローン病	386人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2人
・悪性関節リウマチ	21人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	309人	・球脊髄性筋萎縮症	13人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	30人
・後縦靭帯骨化症	53人	・肥大型心筋症	7人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	51人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	20人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	166人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	57人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	166人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・人工括約筋を用いた尿失禁手術	・
・腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	360回
部 検 の 状 況	部検症例数 54例 / 部検率 7.30%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
へムによる液性免疫応答制御の 解明	五十嵐 和彦	生物化学分野	9,900	補 委	文部科学省
POPsとメチル水銀の周産期混合 ばく露における母子移行動態モ デルの構築	佐藤 洋	環境保健医学分野	9,600	補 委	文部科学省
非喫煙者肺腺癌の生物学的事 象:なぜEGFR変異は肺腺癌と東 アジア人に集積するか?	貫和 敏博	呼吸器病態学分野	5,000	補 委	文部科学省
早期の癌に対する標準的放射線 治療法確立と適応決定に関する 研究	山田 章吾	放射線腫瘍学分野	8,200	補 委	文部科学省
脳実質内薬物送達システムの開 発	富永 悌二	神経外科学分野	5,100	補 委	文部科学省
脳腸相関の病態生理における脳 腸ペプチドの役割	福土 審	行動医学分野	4,500	補 委	文部科学省
プリオン蛋白異常化分子機構の 解明	北本 哲之	病態神経学分野	10,200	補 委	文部科学省
腎臓リハビリテーション:有効性の 機序解明と臨床応用	上月 正博	内部障害学分野	17,700	補 委	文部科学省
デング熱、デング出血熱の新しい バイオマーカーの有用性	服部 俊夫	感染病態学分野	11,700	補 委	文部科学省
脳機能画像法と神経心理学的研 究によるエピソード記憶の神経基 盤の解明	藤井 俊勝	高次機能障害学分野	3,400	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
神経幹細胞の増殖と分化を制御する脂肪酸および脂肪酸結合タンパク質の機能解析	大隅 典子	発生発達神経科学分野	4,500	補 委	文部科学省
心障害モデルの運動療法と血管作動物質発現の関係の検討	森 信芳	内部障害学分野	1,800	補 委	文部科学省
造血細胞の分化・成熟プログラムにおける生体内環境応答機構の役割	本橋 ほづみ	RIセンター	3,500	補 委	文部科学省
T細胞共刺激分子を標的とした炎症性腸疾患発症制御	石井 直人	免疫学分野	4,100	補 委	文部科学省
急増する前立腺がんに対するPSA検診の意義に関する医療経済学的検討	濃沼 信夫	医療管理学分野	4,300	補 委	文部科学省
最新技術による分子・個体レベルの統合的ヒスタミン研究と神経変性疾患への応用	谷内 一彦	機能薬理学分野	3,600	補 委	文部科学省
ソーシャルキャピタルが高齢者の要介護発生リスクに及ぼす影響に関する社会疫学研究	辻 一郎	公衆衛生学分野	3,500	補 委	文部科学省
生活習慣病と心腎連関の機序の検討	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	3,200	補 委	文部科学省
造血型GATA転写因子の機能破綻に起因する白血病発症メカニズムの解析	清水 律子	分子血液学分野	2,300	補 委	文部科学省
ヘモグロビン型人工赤血球を用いた妊娠高血圧症に伴う胎児低酸素へのナノマイクロ治療	岡村 州博	周産期医学分野	4,000	補 委	文部科学省
統合失調症罹患感受性を増強する環境因子のエピゲノムへの刻印の特定	富田 博秋	精神・神経生物学分野	2,900	補 委	文部科学省
次世代自己・バルーン拡張型薬剤溶出被覆ステントの開発と安全性試験	石橋 忠司	画像診断学分野	3,500	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
レチノイン酸ミセルを用いたCED法による膠芽腫新規治療法の開発	隈部 俊宏	神経外科学分野	2,100	補 委 文部科学省
PSAを凌駕する新しい前立腺癌マーカー「RM2ハプトグロビンペーター」	荒井 陽一	泌尿器科学分野	4,400	補 委 文部科学省
部分的内耳切断時の内耳保護に関する基礎的研究	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	2,600	補 委 文部科学省
バイオフィルム制御による新しい創傷管理法の開発	館 正弘	形成外科学分野	3,200	補 委 文部科学省
助産師外来における助産師のメンタルケアサポート体制の確立	齋藤 秀光	精神看護学分野	2,900	補 委 文部科学省
オブジェクト操作と動作のカテゴリ化の脳内表現	虫明 元	生体システム生理学分野	3,900	補 委 文部科学省
環境調整を加味したロービジョンケアプログラムの有効性	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	3,400	補 委 文部科学省
一酸化窒素合成酵素系(NOSs)の生物学的多様性に関する基礎的・臨床的研究	下川 宏明	循環器内科学分野	4,800	補 委 文部科学省
ヒト肺上皮前駆細胞を用いた難治性肺疾患の病態解明	久保 裕司	先進感染症予防学寄附講座	3,400	補 委 文部科学省
肺の間質・気道の線維化および発癌・進展に関する循環線維細胞の分子病態とその制御	海老名 雅仁	呼吸器病態学分野	4,500	補 委 文部科学省
プリオン病の発病抑制に関わる宿主の新規防御機構の実証と新規治療標的因子群の発見	堂浦 克美	神経化学分野	4,500	補 委 文部科学省
精神病発症リスク群と初回精神病の予後予測法の確立:リスクと予後の多次元評価モデル	松本 和紀	予防精神医学寄附講座	3,600	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
ユビキチンリカーゼFbw7によるタンパク質分解制御からの胆道癌発癌機序解明	片寄 友	統合癌治療外科学寄附講座	5,600	補委 文部科学省
膵・胆道癌に対する特異的癌ワクチン療法の確立	江川 新一	消化器外科学分野	3,500	補委 文部科学省
網羅的薬剤トランスポーター絶対定量による胆道癌の抗癌剤感受性・耐性予測	海野 倫明	消化器外科学分野	4,700	補委 文部科学省
リハビリテーション運動療法の多面的効果における臓器連関の機序解明	伊藤 修	内部障害学分野	5,900	補委 文部科学省
生体由来ヒト多能性幹細胞の特性解析と再生医療への応用の可能性	出沢 真理	細胞組織学分野	7,500	補委 文部科学省
ポリ塩化ビフェニルの胎児期ばく露による健康影響に関するコホート内症例対照研究	仲井 邦彦	環境遺伝医学総合研究センター	7,100	補委 文部科学省
ストレス関連ホルモンと乳がん罹患・予後に関する分析疫学研究	南 優子	地域保健学分野	3,600	補委 文部科学省
三世代コホートの構築による曝露因子が子どもの健康に与える累積影響の解明	栗山 進一	環境遺伝医学総合研究センター	8,400	補委 文部科学省
骨髄由来細胞の機能改変による癌幹細胞特異的nicheを標的とした膵癌治療法の開発	下瀬川 徹	消化器病態学分野	5,300	補委 文部科学省
新規臓器間代謝情報ネットワーク機構の発見と役割の解明	片桐 秀樹	代謝疾患学分野	5,900	補委 文部科学省
マウスモデルを用いたエイズ合併クリプトコックス症の内因性再燃発症に関する研究	川上 和義	感染分子病態解析学分野	6,300	補委 文部科学省
全ゲノム相関解析により見出したモヤモヤ病感受性遺伝子RNF213の機能探査	呉 繁夫	小児病態学分野	7,900	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
細胞内シグナル伝達異常による先天奇形症候群の分子遺伝学的探索	松原 洋一	遺伝病学分野	6,400	補委 文部科学省
タウ蛋白検出PETプローブの臨床応用	岡村 信行	機能薬理学分野	6,300	補委 文部科学省
ARTに用いる精子のゲノムインプリンティングの網羅的解析と異常の原因解明	有馬 隆博	環境遺伝医学総合研究センター	5,400	補委 文部科学省
リンパ浮腫治療・ケア領域におけるEBP(証拠に基づく実践)のための臨床研究	吉沢 豊予子	ウイメンズヘルス看護学分野	5,500	補委 文部科学省
アジアにおけるインフルエンザウイルスの疫学解析ネットワークの構築	鈴木 陽	微生物学分野	3,100	補委 文部科学省
過敏性腸症候群における食物不耐性の役割と蛋白分解酵素薬の有効性に関する検討	金澤 素	行動医学分野	900	補委 文部科学省
看護師の業務権限の見直しに向けた理論的・帰納的研究;自律性再考	朝倉 京子	看護教育・管理学分野	700	補委 文部科学省
付加誘導心電図導出技術によるBrugada症候群の新しい診断補助法に関する研究	魏 大名	循環器内科学分野	900	補委 文部科学省
経時的に呈示されるオブジェクトのカウンティング神経機構	嶋 啓節	生体システム生理学分野	1,000	補委 文部科学省
進行性腎疾患における腎臓リハビリテーションの有効性の機序解明	金澤 雅之	内部障害学分野	800	補委 文部科学省
血管性認知症における局所脳代謝量によるリハビリテーションの機能予後予測の検討	田中 尚文	肢体不自由学分野	700	補委 文部科学省
創造性・論理性を育むマイクロスケール化学実験の普及についての研究	荻野 和子	分子機能解析学分野	1,100	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
放射線誘発突然変異のエイジ依存性とそのメカニズムの解析	上原 芳彦	ゲノム生物学分野	700	補委 文部科学省
第二相解毒酵素群の発現を誘導するNrf2-Maf転写因子複合体の三次元構造解析	黒河 博文	医化学分野	1,100	補委 文部科学省
M期染色体上におけるエピジェネティック情報の継承機構	小村 潤一郎	ゲノム生物学分野	1,100	補委 文部科学省
プラコード分化制御の分子基盤の解明	若松 義雄	発生発達神経科学分野	1,100	補委 文部科学省
マウス小腸絨毛各部のIELの同定・部位の違いによる形態的性状と機能の差異	伊藤 恒敏	発生生物学分野	900	補委 文部科学省
ヒスタミンH3受容体の細胞表面発現制御機構の解析	助川 淳	分子薬理学分野	1,000	補委 文部科学省
がんにおけるDNA高度メチル化を指標としたバイオマーカーの探索	福重 真一	分子病理学分野	1,100	補委 文部科学省
患者中心医療を促す医師・医学生へのEmotional Intelligence分析	石井 誠一	医学教育推進センター	900	補委 文部科学省
研修医から見た卒前の診療参加型臨床実習の実態と問題点	金塚 完	医学教育推進センター	400	補委 文部科学省
血流量評価による鍼灸治療作用機序解明の基礎研究	関 隆志	先進漢方治療医学寄附講座	500	補委 文部科学省
食道・胃接合部で限局性に発生する一酸化窒素による発癌への影響	飯島 克則	消化器病態学分野	900	補委 文部科学省
胆汁うっ滞性肝疾患病態形成における内因性レトロウイルス遺伝子の関与の検討	上野 義之	消化器病態学分野	900	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
心血管病の発症・進展を予知する新規バイオマーカーの開発	福本 義弘	循環器病態学分野	700	補 委	文部科学省
低出力体外衝撃波を用いた慢性心不全に対する非侵襲性治療法の開発	伊藤 健太	循環器先端医療開発学寄附講座	700	補 委	文部科学省
抗酸化ストレス及びアポトーシス抑制効果を有する希少糖を用いた新規腹膜透析液の開発	清元 秀泰	腎・高血圧・内分泌学	300	補 委	文部科学省
外来性再生誘導因子による運動ニューロン再生促進環境の誘導	青木 正志	神経内科学分野	900	補 委	文部科学省
動脈硬化における小胞体ストレス応答・酸化ストレス応答の役割	石垣 泰	分子代謝病態学分野	1,200	補 委	文部科学省
生体におけるリン調節機構の解明と遺伝性低リン血症くる病の新たな治療法の開発	藤原 幾磨	小児病態学分野	800	補 委	文部科学省
胎生期の栄養因子による生活習慣病関連遺伝子のエピジェネティクス制御の異常	室月 淳	周産期医学分野	900	補 委	文部科学省
吸入酸素はMRI造影剤となりうるか—組織酸素代謝マーカーとしての役割	田村 元	医用物理学分野	1,000	補 委	文部科学省
11CドネペジルPETを用いたアルツハイマー病へのドネペジル治療効果の検討	目黒 謙一	高齢者高次脳医学寄附講座	700	補 委	文部科学省
X線CTの画像雑音(被曝)を低減する画像再構成法	森 一生	医用画像工学分野	600	補 委	文部科学省
心臓移植後冠動脈病変に対するプロテオグリカン「デコリン」による遺伝子治療法の開発	川本 俊輔	心臓血管外科学分野	1,000	補 委	文部科学省
生体吸収性ステントラッピング法による冠動脈バイパスグラフトの遠隔予後改善の研究	井口 篤志	心臓血管外科学分野	700	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
超高磁場MRIによる完全非侵襲脳循環代謝評価法開発	井上 敬	神経外科学分野	1,100	補 委	文部科学省
米国人、日系米国人および日本人前立腺癌患者QOLのクロスカルチャー研究	並木 俊一	泌尿器科学分野	1,100	補 委	文部科学省
高齢者における夜間頻尿と死亡率・骨折発生との関連—大規模疫学調査からの検討—	浪間孝重	泌尿器科学分野	900	補 委	文部科学省
円形精子細胞は生殖補助医療に使用可能か:受精諸プロセスにおけるその機能の検証	早坂 真一	婦人科学分野	1,000	補 委	文部科学省
エストロゲンとタモキシフェンの生物学的差異を利用した、子宮体癌モデルマウス作成	新倉 仁	婦人科学分野	700	補 委	文部科学省
網羅的マイクロRNA解析による子宮体部漿液性腺癌の癌化機構の解明	永瀬 智	周産期医療人材養成 寄附講座	600	補 委	文部科学省
網膜保護用デバイスの開発	阿部 俊明	細胞治療分野	700	補 委	文部科学省
地域エンパワメントを目指す協働の活動への合意形成に関する研究	末永 カツ子	地域ケアシステム看護学分野	1,100	補 委	文部科学省
幼児期の脳内ストレス処理回路の発達と成熟に内臓知覚過敏が及ぼす影響	渡辺 論史	行動医学分野	800	補 委	文部科学省
行動戦略の統合的制御における前頭前野内側部の新領域の役割	松坂 義哉	生体システム生理学 分野	700	補 委	文部科学省
栄養カテーテルの安全な挿入を実現する光ガイドシステムの開発	宗形 光敏	小児科	1,100	補 委	文部科学省
ニューロン分化におけるシグナル統合因子としてのSbno1	勝山 裕	発生発達神経科学分野	900	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
GPCRシグナル複合体細胞内輸送の時空間的制御に関する検討	柳澤 輝行	分子薬理学分野	1,200	補委 文部科学省
腎尿細管細胞におけるGATA転写因子を介した生体恒常性維持機構の解明	森口 尚	医化学分野	1,000	補委 文部科学省
非浸潤性乳癌における性ホルモン作用の解明:内分泌療法の更なる向上をめざして	鈴木 貴	病理検査学分野	1,100	補委 文部科学省
国内外のIgA腎症病理組織分類の検証に関する臨床病理学的後向き研究	城 謙輔	病理診断学分野	1,300	補委 文部科学省
医学教育アウトカム評価法としてのカルテピアレビューシステムの開発	亀岡 淳一	医学教育推進センター	1,200	補委 文部科学省
慢性心不全患者における悪性新生物の発生・進展に関するコホート研究	柴 信行	循環器EBM開発学 寄附講座	1,100	補委 文部科学省
質量分析によるmicroRNAの網羅的検索とその法医学的応用	橋谷田 真樹	法医学分野	700	補委 文部科学省
脳機能画像を用いた内臓感覚の記憶と認知変容過程の研究	鹿野 理子	行動医学分野	900	補委 文部科学省
アルドステロン合成酵素CYP11B2発現抑制に基づく新規降圧療法の開発	菅原 明	病態検査学分野	1,000	補委 文部科学省
呼吸器感染症病原菌の表皮細胞内侵入と抗菌薬からのエスケープ機構	平潟 洋一	臨床微生物解析治療学寄附講座	800	補委 文部科学省
回転収縮運動を考慮した心機能評価法の開発に関する研究	齋藤 春夫	画像解析学分野	1,000	補委 文部科学省
乳がん化学療法における一酸化窒素供与剤併用の上乘せ効果の研究	甘利 正和	ナノ医科学寄附講座	1,100	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
トリプルネガティブ乳癌の生物学的特性解明と治療戦略の構築	石田 孝宣	腫瘍外科学分野	1,300	補 委 文部科学省
潰瘍性大腸炎術後の回腸囊炎の発症経過と機序の解明ー回腸囊炎は術後再発か？ー	小川 仁	生体調節外科学分野	1,200	補 委 文部科学省
IAPファミリーを標的とした新規大腸癌治療法の開発	木内 誠	消化器外科学分野	1,000	補 委 文部科学省
耐性機序を克服する新規抗癌剤ニュージェムシタピンの開発	砂村 眞琴	分子病理学分野	1,100	補 委 文部科学省
ナノバブルを用いた膵癌肝転移に対する分子デリバリー療法	赤田 昌紀	消化器外科学分野	1,000	補 委 文部科学省
ラパマイシンフィルムの冠動脈バイパス手術への臨床応用に関する研究	小田 克彦	心臓血管外科学分野	800	補 委 文部科学省
有限要素解析を用いた胸部大動脈瘤破断予測:ステントグラフト術後遠隔期予後への応用	熊谷 紀一郎	大動脈疾患治療開発学寄附講座	700	補 委 文部科学省
両側性アルドステロン産性(微小)腺腫に対する外科資料体系の確立	石戸谷 滋人	泌尿器科学分野	800	補 委 文部科学省
妊娠高血圧症候群における新規血管新生制御因子パンヒピンの動態と胎盤機能評価	千坂 泰	周産期医学分野	1,100	補 委 文部科学省
緑内障の感受性遺伝子同定と罹患性診断、薬剤応答予測への応用	布施 昇男	眼科学分野	1,000	補 委 文部科学省
急性肺損傷の治療法確立に向けた肺内水分動態と網羅的気道上皮代謝物解析に関する研究	久志本 成樹	救急医学分野	1,200	補 委 文部科学省
地方における看護教育制度成立過程の研究	小山田 信子	周産期看護学分野	500	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
乳がん体験者の術後上肢機能障害予防改善に向けた長期介入の効果	佐藤 富美子	がん看護学分野	600	補 委 文部科学省
IVR患者放射線被曝測定用リアルタイム線量計の開発	洞口 正之	放射線検査学	1,000	補 委 文部科学省
リアルタイム式体内設置型放射線照射量測定システムの開発	細貝 良行	画像解析学分野	300	補 委 文部科学省
腫瘍特異的なmiRNA成熟過程阻害を誘導するRNA結合タンパク質の探索	安田 純	岡グローバルCOE	1,400	補 委 文部科学省
アルツハイマー病における書字障害の発現機構と神経基盤の解明	林 敦子	高次機能障害学分野	1,000	補 委 文部科学省
トロポニンCのカルシウム親和性が不整脈の頻拍周期の決定に果たす役割の解明	三浦 昌人	保健学専攻 臨床生理検査学分野	1,400	補 委 文部科学省
外分泌腺細胞核・ミトコンドリアでの膜の可塑性とイオンチャネル関連	丸山 芳夫	細胞生理学分野	2,600	補 委 文部科学省
線条体ネットワークの状態遷移に対する自発カルシウムリズムの寄与	小山内 実	保健学専攻 医用画像工学分野	1,500	補 委 文部科学省
心腎貧血症候群の病態におけるレニン・アンジオテンシン系の新規因子の解析	高橋 和広	保健学専攻 内分泌応用医科学分野	1,800	補 委 文部科学省
調節系ヘムプールの変化に即応するためのヘム生合成調節機構の解明	古山 和道	分子生物学分野	1,700	補 委 文部科学省
ヒト前立腺がんのホルモン不応性獲得におけるセロトニンの役割と新たな治療標的の可能性	中村 保宏	病理診断学分野	1,500	補 委 文部科学省
S100A4の制御による膀胱癌、肺癌の浸潤、転移の抑制法の開発	堀井 明	分子病理学分野	1,500	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
病院環境における薬剤耐性菌制御のリスクマネジメントに関する研究	國島 広之	感染症診療地域連携 寄附講座	1,300	補 委 文部科学省
乳癌個別化診断を目標とする新規エストロゲンシグナル経路の解析と検査法の開発	丹羽 俊文	保健学専攻 分子機能解析学分野	1,500	補 委 文部科学省
脳機能障害患者の排便障害に対する大建中湯、温熱療法の効果の検討	高山 真	先進漢方治療医学 (ソムラ) 寄附講座	1,600	補 委 文部科学省
膵星細胞による膵癌肝細胞stemness制御機構の解明とその治療応用	正宗 淳	消化器病態学分野	1,900	補 委 文部科学省
末梢血多核白血球Rhoキナーゼ測定:冠攣縮性狭心症の新たなバイオマーカーの開発	安田 聡	循環器内科学分野	1,800	補 委 文部科学省
進行非小細胞肺癌に対する腫瘍微小循環促進剤併用化学療法の橋渡し研究	安田 浩康	医学統計学分野	1,400	補 委 文部科学省
グリア新生と血管新生の両者を標的としたALS脊髄再生誘導	割田 仁	神経内科学分野	2,100	補 委 文部科学省
過栄養時のエネルギー消費節約機構による肥満発症メカニズムの解明	山田 哲也	代謝疾患学分野	2,100	補 委 文部科学省
細胞内エストロゲンシグナル経路の可塑性とアロマターゼ阻害剤耐性機序の解明	林 慎一	保健学専攻 分子機能解析学分野	1,400	補 委 文部科学省
3tesla脳MRIによる治療後グリオーマの腫瘍再発と放射線壊死/非再発の鑑別	高橋 昭喜	量子診断学分野	1,300	補 委 文部科学省
腸管マクロファージをターゲットとした新たな小腸移植免疫抑制療法の検討	仁尾 正記	小児外科学分野	1,700	補 委 文部科学省
胃内寒冷受容体刺激の結腸運動亢進・排便誘発効果を応用した経口排便誘発剤の開発	柴田 近	生態調節外科学分野	1,000	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
脊髄損傷に対する低出力衝撃波治療効果の検討	小澤 浩司	整形外科学分野	1,900	補委 文部科学省
AMPK・mTORシグナルをターゲットとした子宮筋腫に対する新治療戦略	武田 卓	先進漢方治療医学(ツムラ)寄附講座	1,700	補委 文部科学省
子宮内膜癌微小環境:サイトカインを中心に、局所エストロゲン合成の制御因子を探る	伊藤 潔	周産期医学分野	2,200	補委 文部科学省
子宮内膜癌における新規レチノイン酸受容体標的遺伝子の同定とその機能解析	宇都宮 裕貴	周産期医療人材養成寄附講座	1,900	補委 文部科学省
味覚誘発脳磁界反応を利用した鼓索神経障害の他覚的評価と予後診断	山内 大輔	耳鼻咽喉・頭頸外科学分野	1,300	補委 文部科学省
低出力対外衝撃波を用いた慢性創傷に対する非侵襲性治療法の開発	今井 啓道	形成外科学分野	2,100	補委 文部科学省
看護師の専門職性と離職意向に関する研究	渡邊 生恵	保健学専攻 看護教育・管理学分野	1,200	補委 文部科学省
発達障害の子どもと家族のための看護支援ガイドラインの開発とその検証に関する研究	塩飽 仁	保健学専攻 小児看護学分野	1,000	補委 文部科学省
iPS細胞の腫瘍形成の原因である「不均一性の排除」に関する研究	佐藤 岳哉	保健学専攻 分子薬理学分野	1,600	補委 文部科学省
過敏性腸症候群の生物学的マーカーと遺伝子・環境相関	福土 審	行動医学分野	1,000	補委 文部科学省
現代の光環境が子宮内膜症を誘導する分子メカニズムの解明	岡村 州博	周産期医学分野	800	補委 文部科学省
末梢動脈疾患(PAD)への包括的リハビリテーションの有効性の確立	上月 正博	内部障害学分野	1,400	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
ピロリ除菌による胃癌予防の費用対効果と新たな胃癌検診の制度設計に関する医療経済	濃沼 信夫	医療管理学分野	800	補 委 文部科学省
パーソナリティ・人生観の健康影響に関する心理疫学研究	辻 一郎	公衆衛生学分野	1,000	補 委 文部科学省
興奮性譫妄による急死の全国調査と病態解明に関する研究	舟山 真人	法医学分野	1,100	補 委 文部科学省
アミンカーボニル反応性の新たな腎臓病のメカニズムの解明	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野	1,100	補 委 文部科学省
幹細胞冬眠誘導を用いた転移性肝癌に対する治療法の開発	片寄 友	統合癌治療外科学寄附講座	1,100	補 委 文部科学省
レックリングハウゼン病に対するナノバブルを用いた遺伝子導入による治療法の開発	館 正弘	形成外科学分野	1,600	補 委 文部科学省
熟練助産師の分娩介助時の動作(手動作含む)・視線の解析	吉沢 豊予子	ウイメンズヘルス看護学分野	800	補 委 文部科学省
訪問看護におけるキュアとケアの統合に関する研究	川原 礼子	老年保健看護学分野	500	補 委 文部科学省
統合失調症の病態におけるオリゴデンドロサイト/オリゴデンドロサイト前駆細胞の関与	大隅 典子	発生発達神経科学分野	1,600	補 委 文部科学省
高速ナノバイオイメーjingによる細胞膜透過ペプチドの改良	鈴木 康弘	感染病態学分野	1,800	補 委 文部科学省
ロービジョン者のための眼球運動訓練ツールの開発と効果の検証	鈴嶋 よしみ	肢体不自由学分野	2,300	補 委 文部科学省
自主トレーニングが造血幹細胞移植患者の身体機能と「QOL」に与える影響	森 信芳	内部障害学分野	2,500	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
前立腺全摘出術後の性機能・尿失禁リハビリテーション	荒井 陽一	泌尿器科学分野	1,800	補委 文部科学省
視覚刺激同期型手指用CPMの開発	大内田 裕	肢体不自由学分野	1,900	補委 文部科学省
高齢者・認知症者の音楽活動による健康増進を推進する読譜トレーニングシステムの開発	市江 雅芳	音楽音響医学分野	2,200	補委 文部科学省
乳児における採尿方法の確立	栗山 進一	環境遺伝医学総合研究センター	2,000	補委 文部科学省
日光紫外線による三重項励起状態を介したシクロブタン型ピリミジンダイマー生成の証明	池畑 広伸	ゲノム生物学分野	1,700	補委 文部科学省
解離性健忘における神経ネットワーク障害:脳機能画像・経頭蓋磁気刺激を用いた研究	森 悦朗	高次機能障害学分野	1,900	補委 文部科学省
SmgGDSを介したスタチンの多面的作用の分子機序の解明	下川 宏明	循環器内科学分野	1,500	補委 文部科学省
CRHRI陽性子宮内膜癌細胞発現におけるストレス影響と遺伝的背景の解明	佐藤 菜保子	保健学専攻 がん看護学分野	1,500	補委 文部科学省
ヒト皮膚由来の多能性幹細胞を用いた骨髄移植法の開発	出沢 真理	細胞組織学分野	1,500	補委 文部科学省
発がん応答性メチル化促進エレメントの探索	本橋 ほづみ	RIセンター	1,800	補委 文部科学省
Nrf2による造血幹細胞の自己複製調節機構の解析	山本 雅之	医化学分野	3,100	補委 文部科学省
がんの間質細胞遺伝子依存性を制御する転写因子網の解明	五十嵐 和彦	生物化学分野	1,500	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
microRNAを用いた乳癌検査ツールの開発	笹野 公伸	病理診断学分野	1,300	補委 文部科学省
関節強直を規程する皮膚炎と関節強直の病態関連分子メカニズムの解明	小野 栄夫	病理形態学分野	1,400	補委 文部科学省
生命維持治療中止法制化の影響に関する社会医学的研究	伊藤 道哉	医療管理学分野	1,300	補委 文部科学省
在宅脳卒中患者のアウトカム評価による医療・介護サービスの検証	金子 さゆり	医療管理学分野	700	補委 文部科学省
フィリピンにおけるヒトエンテロウイルスCの疫学解析とリスク評価	押谷 仁	微生物学分野	1,500	補委 文部科学省
全エクソーム領域の網羅的解析による膵炎関連遺伝子異常の究明	下瀬川 徹	消化器病態学分野	1,900	補委 文部科学省
肺高血圧患者由来血清による新規バイオマーカー探索	佐藤 公雄	循環器内科学分野	1,500	補委 文部科学省
海洋由来天然化合物exiguolideの新規抗腫瘍メカニズムの解明	久保 裕司	先進感染症予防学寄附講座	1,500	補委 文部科学省
PrP129Val/Val遺伝子をもつvCJD患者のs迅速確定診断法の樹立	北本 哲之	病態神経学分野	3,000	補委 文部科学省
オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症由来iPS細胞の相同組換えによる遺伝子修復	土屋 滋	小児病態学分野	1,500	補委 文部科学省
モヤモヤ病発症リスクの評価を可能にする遺伝子診断法の開発	呉 繁夫	小児病態学分野	2,900	補委 文部科学省
次世代高速シーケンサーと高密度マイクロアレイを用いた遺伝性疾患病因遺伝子の同定	松原 洋一	遺伝病学分野	1,800	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
炎症性皮膚疾患浸潤細胞の組織分布による遺伝子発現変化の解析	相場 節也	皮膚科学分野	1,000	補委 文部科学省
肝硬変治療のための新規低出力体外衝撃波を用いた肝細胞および肝組織再生療法の開発	宮田 剛	先進外科学分野	1,900	補委 文部科学省
海馬のてんかん発生に関わる神経ネットワークスケールの測定	中里 信和	てんかん学分野	2,200	補委 文部科学省
胚体外細胞系列への細胞運命決定機構とヒト胎盤由来幹細胞の樹立	有馬 隆博	情報遺伝学分野	1,500	補委 文部科学省
卵巣癌におけるエピゲノム変異制御因子と標的分子の同定	八重樫 伸生	婦人科学分野	1,200	補委 文部科学省
組換え体乳酸菌を用いた頭頸部進行・再発癌に対する遺伝子治療の開発と臨床応用	浅田 行紀	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	1,300	補委 文部科学省
インフルエンザ誘発劇症型ARDS発症へのクローデイン接着分子ネットワークの関与	川上 和義	保健学専攻 感染分子病態解析学分野	1,500	補委 文部科学省
終末期ケアに関わる看護師主導型の各種クリニカルパスの開発	宮下 光令	保健学専攻 緩和ケア看護学分野	1,300	補委 文部科学省
母乳分泌量維持要因の探索的研究～NICU入院中の母親の肯定的体験～	佐藤 祥子	保健学専攻 周産期看護学分野	600	補委 文部科学省
幼少期における家庭環境が、思春期の精神健康と学校適応に及ぼす影響についての研究	佐藤 みほ	看護教育・管理学分野	1,140	補委 文部科学省
膵β細胞におけるKeap1-Nrf2システムによる酸化ストレス応答機構の解明	宇留野 晃	創薬科学(持田製薬) 寄附講座	1,160	補委 文部科学省
初経・出産・閉経などのイベントと高血圧をはじめとする生活習慣病発症との関連の検討	目時 弘仁	環境遺伝医学総合研究センター	1,160	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
終末期がん患者への緩和ケア提供に係わる医療費のケースミックス分類の開発	佐藤 一樹	緩和ケア看護学分野	830	補 委	文部科学省
新規の有機性蛍光粒子を用いたセンチネルリンパ節の迅速3次元診断法の開発	日景 允	先進外科学分野	1,130	補 委	文部科学省
新規の多能性幹細胞Muse細胞の生体内における動態解析および発生学的起源の同定	黒田 康勝	細胞組織学分野	1,300	補 委	文部科学省
フィリピン共和国における感染対策を目的としたロタウイルスの分子疫学的研究	山本 大	微生物学分野	1,300	補 委	文部科学省
プラスミノーゲン活性化抑制因子阻害薬を用いたマクロファージ浸潤炎症誘発機構の解明	市村 敦彦	分子病態治療学	1,300	補 委	文部科学省
長期療養施設における安全管理とケアサービスの質評価に関する実証研究	金子 さゆり	医療管理学分野	4,000	補 委	文部科学省
緑内障における総合的神経保護治療の開発	中澤 徹	眼科学分野	5,400	補 委	文部科学省
経強膜マルチドラッグデリバリーによる神経網膜保護研究	永井 展裕	細胞治療学分野	7,300	補 委	文部科学省
転写抑制因子ETO2による赤芽球エピゲノム形成の分子機構	藤原 亨	血液分子治療学寄附講座	4,600	補 委	文部科学省
びまん性軸索損傷に対する新たな経時的画像評価と高次脳機能障害回復過程の関連性検討	杉山 謙	肢体不自由学分野	800	補 委	文部科学省
リモートセンシング技術を生体へ応用した術中脳機能マッピング法の開発	永松 謙一	神経外科学分野	500	補 委	文部科学省
ヒト上皮性卵巣癌におけるマイクロRNA発現の網羅的解析	赤平 純一	病理診断学分野	600	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
定年退職後の高齢男性ボランティアの活動に関する記述的研究	齋藤 美華	老年保健看護学分野	500	補 委 文部科学省
高速無線アドホックネットワークにおけるチャンネル制御手法に関する研究	中村 直毅	情報基盤室	500	補 委 文部科学省
肩腱板断裂患者の症状の有無と肩間接運動様式の関連について	村木 孝行	肢体不自由学分野	400	補 委 文部科学省
がん微小環境制御転写因子Bach1の機能解明とがん幹細胞移植モデルマウスへの応用	松本 光代	周産期医療人材養成寄附講座	900	補 委 文部科学省
Keap1-Nrf2を介した酸化ストレスシグナルの幹細胞における役割	守田 匡伸	医化学分野	1,200	補 委 文部科学省
生体内超微細構造可視化技術を用いた抗体医薬品の革新的装薬法の開発	権田 幸祐	ナノ医科学寄附講座	1,400	補 委 文部科学省
脳パターン化におけるシグナリングセンターの形成維持メカニズムの解明	高橋 将文	発生発達神経科学分野(発生発達神経科学分野)	1,600	補 委 文部科学省
生体内一粒子DDSイメージングと新生血管透過性制御による乳癌薬物治療の最適化	河合 賢朗	地域保健学分野	1,400	補 委 文部科学省
生体防御システムの破綻と病態	田口 恵子	医化学分野	1,200	補 委 文部科学省
細胞分化調節による脊髄損傷治療法開発の試みーグリア新生を神経新生へー	北田 容章	細胞組織学分野	1,000	補 委 文部科学省
膵臓外分泌細胞における、maxiKチャネルタンパク質の特異的な小胞輸送機構の研究	村田 喜理	細胞生理学分野	1,500	補 委 文部科学省
含セレン蛋白質合成破綻による神経変性疾患モデルマウスの創出	鈴木 隆史	医化学分野	1,600	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
大腸菌人工染色体トランスジェニックマウスを用いたGATA2遺伝子制御解析	鈴木 未来子	分子血液学分野	1,300	補委 文部科学省
血管新生の抑制を標的とした、免疫細胞活性化分子を介する動脈硬化新規治療法の開発	中野 誠	循環器内科学分野	2,000	補委 文部科学省
不整脈予防と心収縮力の著名な改善を同時に実現した、筋芽細胞移植法の開発	熊谷 啓之	病理形態学分野	1,600	補委 文部科学省
乳癌幹細胞サブタイプによる乳癌個別化と新規マーカー探索	伊藤 貴子	病態検査学分野	1,000	補委 文部科学省
過敏性腸症候群のストレス反応とその治療	森下 城	行動医学分野	200	補委 文部科学省
急性肺損傷における新規生理活性脂質リソスファチジン酸の役割解明	山田 充啓	感染症診療地域連携寄附講座(検査部)	1,200	補委 文部科学省
脳血管性認知症の病態における脂肪酸シグナルの役割	吉崎 嘉一	発生発達神経科学分野(発生発達神経科学分野)	1,600	補委 文部科学省
ヒツジ胎仔を用いた人口胎盤に応用できる膜型肺回路の開発	渡邊 真平	小児病態学分野	1,500	補委 文部科学省
表皮細胞におけるWnt標的遺伝子Id2の機能解析	目々澤 愛	皮膚科学分野	1,300	補委 文部科学省
胸腔内からの脊髄冷却法の開発	高橋 悟朗	心臓血管外科学分野	800	補委 文部科学省
マイクロRNAを用いた子宮体部漿液性腺癌の新しい治療法の基礎的検討	鈴木 史彦	婦人科学分野	800	補委 文部科学省
精子形成過程におけるゲノムインプリント異常の発生機構に関する検討	林 千賀	周産期医学分野	900	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
妊娠期の快適性と出産満足度・育児行動との関連について	中村 康香	ウイメンズヘルス看護学分野	1,500	補委 文部科学省
先天性ゲノムインプリント異常症に 関与するアレル特異的メチル化領域の同定	樋浦 仁	情報遺伝学分野	1,500	補委 文部科学省
統合失調症での情動刺激への注意・認知と社会生活機能との関連	宮澤 志保	精神・神経生物学分野	900	補委 文部科学省
プリオンを制御する細胞システムの解析	倉橋 洋史	神経化学分野	1,600	補委 文部科学省
新生仔期の尿細管ミトコンドリア内 膜におけるMaxi-Kチャネルとアポ トーシス抑制	風間 逸郎	細胞生理学分野	1,400	補委 文部科学省
脳・心血管・腎臓障害における(プロ) レニン受容体の病態生理学的 役割の解明	廣瀬 卓男	腎・高血圧・内分泌学 分野	2,100	補委 文部科学省
ヘムによる液性免疫制御機構の 解明	松井 美紀	生物化学分野	1,700	補委 文部科学省
エピゲノム制御におけるSAM合成 とメチル基転移酵素共役機構の 解明	加藤 恭文	生物化学分野	1,700	補委 文部科学省
転写因子Bach2に対するユビキチ ン化修飾の生理的意義の解明	武藤 哲彦	生物化学分野	2,100	補委 文部科学省
転写因子Nr1欠失による脂肪肝炎 発症の分子機序の解明	勝岡 史城	創薬科学(持田製薬) 寄附講座	1,700	補委 文部科学省
日本人潰瘍性大腸炎感受性遺伝 子SLC26A3の遺伝子多型機能解 析	角田 洋一	消化器病態学分野	1,700	補委 文部科学省
次世代シーケンサーを用いたメ タゲノム解析による慢性膵炎の病 原体候補の探求	桑 潔	消化器病態学分野	2,200	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
膵癌のEMT関連microRNAの同定とその臨床応用	海野 純	消化器病態学分野	2,100	補 委	文部科学省
リゾリン脂質による肺幹細胞調節機構の解明ならびに肺疾患治療に関する基礎的研究	兼平 雅彦	呼吸器病態学分野	2,000	補 委	文部科学省
難治性てんかん患者における中枢型睡眠時無呼吸と原因不明の突然死(SUDEP)	神 一敬	てんかん学分野	2,500	補 委	文部科学省
小胞体ストレス応答が血管リモデリング・粥状動脈硬化に果たす役割の検討	高 俊弘	代謝疾患学分野	1,700	補 委	文部科学省
RAS/MAPK症候群における遺伝子発現・エピジェネティクス解析	新堀 哲也	遺伝病学分野	1,700	補 委	文部科学省
悪性黒色腫における骨髄由来抑制細胞の同定とその免疫抑制メカニズムの解析	藤村 卓	皮膚科学分野	1,700	補 委	文部科学省
3テラスMRIを用いた、日本人のハイリスク頸動脈プラーク性状の解明	大田 英揮	量子診断学分野	1,600	補 委	文部科学省
無細胞タンパク質合成系を利用した新規ポジロン標識タンパク質作製法の確立と応用	古本 祥三	機能薬理学分野	1,900	補 委	文部科学省
新たな抗血栓薬の脳虚血超急性期への治療応用に関する研究	斉藤 敦志	神経外科学分野	1,600	補 委	文部科学省
局所治療と全身治療をつなぐ脳腫瘍免疫遺伝子治療法の開発	齋藤 竜太	神経外科学分野	1,900	補 委	文部科学省
光音響顕微鏡装置を利用した関節軟骨および軟骨下骨の同時評価法の確立	萩原 嘉廣	上肢運動器学寄附講座(整形外科)	1,700	補 委	文部科学省
ヒト不妊症精子におけるメチル化インプリントの異常と分子機構の解析	宮内 尚子	情報遺伝学分野	1,400	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
新規ヒト化マウス子宮筋腫モデルを用いた子宮筋腫治療薬の開発	築地 謙治	先進漢方治療医学(ツムラ)寄附講座	1,400	補 委	文部科学省
機能的ゲノム解析による卵巣がんの新規治療標的の探索	豊島 将文	東北がんプロフェッショナル養成プラン(産婦人科)	1,300	補 委	文部科学省
局所におけるエストロゲン産生が子宮膜組織の発育に及ぼす影響の解析	徳永 英樹	婦人科学分野	1,200	補 委	文部科学省
褥瘡・難治性皮膚潰瘍の創部炎症反応機構の解明とケア技術の確立	菅野 恵美	保健学専攻 看護アセスメント学分野	1,900	補 委	文部科学省
酸素や食物が内包する毒性に対する細胞の適応・応答の分子機構の解明	山本 雅之	医化学分野	80,600	補 委	文部科学省
新規ヒト・インプリンティング領域の探索と生殖補助医療への影響	有馬 隆博	環境遺伝医学総合研究センター	3,200	補 委	文部科学省
内皮由来弛緩因子としての活性酸素の役割と作用機構の解明	下川 宏明	循環器内科学分野	15,400	補 委	文部科学省
霊鳥類前頭前野におけるマルチシステムとしての情報処理機構	嶋啓節	生体システム生理学分野	4,400	補 委	文部科学省
神経細胞分化制御と層特異的投射の分子機構	大隅 典子	発生発達神経科学分野	17,900	補 委	文部科学省
臓器間神経ネットワークによる糖・エネルギー代謝調節の分子機構	片桐 秀樹	代謝疾患学分野	13,700	補 委	文部科学省
がん微小環境における酸化ストレス防御機構の意義	鈴木 隆史	医化学分野	3,400	補 委	文部科学省
Keap1-Nrf2システムとAktシグナルの相互作用と肝疾患	田口 恵子	医化学分野	2,700	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
活性酸素シグナルによる液性免疫制御因子Bach2の活性調節機構の解明	武藤 哲彦	生物化学分野	2,500	補委 文部科学省
赤芽球におけるLMO2を介した転写制御機構の解明	藤原 亨	血液分子治療学寄附講座	1,700	補委 文部科学省
パレイドリア現象を利用した顔の錯視・幻視・誤認の発現機序の解明	森 悦朗	高次機能障害学分野	2,600	補委 文部科学省
酸化ストレスセンサーKeap1と選択的蛋白質分解系による新規シグナリング複合体	黒河 博文	医化学分野	3,500	補委 文部科学省
両生類・魚類の再生原理に基づいた、新規脊髄損傷治療法の開発	北田 容章	細胞組織学分野	4,300	補委 文部科学省
がんリンパ行性転移の分子機構解明に基づく新治療法創発	権田 幸祐	ナノ医科学寄附講座	24,400	補委 文部科学省
転写環境制御による代謝応答と酸化ストレス応答のクロストーク	本橋 ほづみ	RIセンター	15,200	補委 文部科学省
メチオニン代謝回路とエピゲノムの共役機構とそのがん化への関与	五十嵐 和彦	生物化学分野	22,400	補委 文部科学省
Gタンパク質共役型受容体シグナル複合体の細胞表面発現調節メカニズムの解析	助川 淳	分子薬理学分野	7,500	補委 文部科学省
電気刺激による腫瘍血流制御を応用した新癌治療法の開発—放射線・化学療法との併用	仲田 栄子	放射線治療学分野	7,500	補委 文部科学省
光感受性分子の遺伝子導入による新たな視覚系構築と再生医工学研究領域の創成	玉井 信	医化学分野	7,700	補委 文部科学省
脳画像データベースに基づく計算解剖学的手法による年代・性別正常脳構造モデルの作成	福田 寛	機能画像医学研究分野(加齢核医学)	2,700	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
脳MR画像を用いたグラフ理論に基づくヒト脳の包括的ネットワーク構造解析	福田 寛	機能画像医学研究分野(加齢核医学)	11,000	補 委 文部科学省
肺高血圧症治療ターゲットとしての抗酸化ストレス転写因子Nrf2の役割の解明	星川 康	呼吸器外科学分野(呼吸器外科)	1,700	補 委 文部科学省
ホウ素中性子捕捉治療の実用化のためのポジロンCT診断薬標識合成法の開発	福田 寛	機能画像医学研究分野(加齢核医学)	1,000	補 委 文部科学省
機能性食品カプシエイトふりかけによる高齢者誤嚥性肺炎予防法の開発研究	海老原 孝枝	老年医学分野(老年科)	900	補 委 文部科学省
アルツハイマー病のタウイメージング	古川 勝敏	老年医学分野(老年科)	7,700	補 委 文部科学省
骨ミネラリゼーションプロセスの解明と硬組織構築	鈴木 治	顎口腔機能創建学	24,400	補 委 文部科学省
歯の再生医療システム構築のための基盤技術開発	山本 照子	顎口腔矯正学	13,600	補 委 文部科学省
シグナルプレックスを基盤とした口腔感覚形成機構の解明	若森 実	歯科薬理学	4,400	補 委 文部科学省
新規ニッケルフリー形状記憶合金を利用した3次元的顎顔面形態制御の医用工学的検討	金高 弘恭	歯学イノベーションリゾンセンター	1,900	補 委 文部科学省
骨形成誘導機能を有するバイオアクティブ型チタン合金の開発	高田 雄京	歯科生体材料学	2,200	補 委 文部科学省
ビスホスホネートによる顎骨壊死:発症機序・予防・治療に関する研究	遠藤 康男	口腔分子制御学	3,500	補 委 文部科学省
Wntシグナル制御を軸としたセメント質再生法の基盤構築	根本 英二	歯内歯周治療学	1,900	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
ヒドロキシルラジカルを人工的に生成する新しいラジカル殺菌技術の口腔内領域への応用	佐々木 啓一	口腔システム補綴学	7,200	補委 文部科学省
口腔バイオフィルム・唾液のメタボローム解析で拓く「口腔疾患リスク指標」	高橋 信博	口腔生化学	2,900	補委 文部科学省
地域高齢者の健康格差と医療費・口腔保健・血液データのコホート研究	小坂 健	国際歯科保健学	2,300	補委 文部科学省
抗ヒスタミン薬を応用した新しい抗ブラキシズム療法の確立	渡辺 誠	加齢歯科学	4,400	補委 文部科学省
骨芽細胞と破骨細胞の賦活化により新生骨との完全置換を促す骨代替材料の開発	鈴木 治	顎口腔機能創建学	7,300	補委 文部科学省
生体活性金属イオンの長期徐放を可能にする分解制御型合金デバイスの開発	清水 良央	口腔病理学	6,400	補委 文部科学省
骨表面における骨増量のための自家骨再生法	川村 仁	顎顔面外科学	4,300	補委 文部科学省
ハニカムマイクロアレイを用いた次世代型歯周組織再生医療の創生	島内 英俊	歯内歯周治療学	8,600	補委 文部科学省
口腔粘膜の傷害度・萎縮度と唾液性状を指標とした口腔粘膜傷害リスク評価法の提案	小関 健由	予防歯科学	6,400	補委 文部科学省
歯髄血流と歯髄酸素飽和度測定に基づく歯根形成度診断法の確立	小松 偉二	小児発達歯科学	500	補委 文部科学省
短期完全吸収骨置換型ペースト状人工骨の開発	今泉 秀樹	顎口腔機能創建学	900	補委 文部科学省
歯原性嚢胞発生モデルマウスでの微小循環に関する経時的・立体的解析	小野寺 健	口腔病理学	300	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
固定性インプラント上部構造の咬合に関する生体力学的検討	川田 哲男	口腔システム補綴学	1,100	補委 文部科学省
口腔癌治療のためのナノバブルと超音波を用いた新しい術中迅速診断システムの開発	森川 秀広	口腔外科学	1,100	補委 文部科学省
リン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体埋入後の再生骨内における未萌出歯の動態	松井 桂子	口腔外科学	600	補委 文部科学省
鎖骨頭蓋異形成症モデルマウスを用いた歯の移動時の歯周組織応答メカニズムの解明	清流 正弘	顎口腔矯正学	700	補委 文部科学省
エナメルタンパクの骨代謝コントロールメカニズムの解明ーエストロゲン関与の可能性ー	五十嵐 薫	口腔障害科学	700	補委 文部科学省
2型糖尿病が歯周組織における骨代謝マーカー発現に及ぼす影響とそのメカニズムの解明	荘司 佳奈子	歯内歯周治療学	1,100	補委 文部科学省
小唾液腺をターゲットとした高齢者口腔乾燥症の治療戦略構築	佐藤 しづ子	口腔診断学	1,300	補委 文部科学省
舌運動の器用さの神経機構:覚醒動物の大脳体性感覚皮質における多細胞活動の同時記録	戸田 孝史	口腔生理学	800	補委 文部科学省
著明な骨形成促進作用を持つ新規ビスホスホネートの歯周疾患治療医学への応用	篠田 壽	口腔生理学	1,400	補委 文部科学省
緑茶カテキンによるシェーグレン症候群の新たな治療法の開発についての検討	齋藤 恵一	予防歯科学	700	補委 文部科学省
歯根修復における新しいバイオハイブリッド型材料の開発	小林 洋子 (岩松洋子)	歯科保存学	800	補委 文部科学省
根管細菌のプロファイリングに基づく根尖性歯周炎の客観的診断と治療法の確立	八巻 恵子	歯内歯周治療学	500	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
局所作用型ホルモンCNPによる新しい顎堤吸収抑制法の基礎的検討	岡山 啓昌	口腔器官構造学	600	補 委 文部科学省
ハンクスブデンチャー装着時の支台歯荷重, 義歯床下荷重に関する生体力学的検討	依田 信裕	口腔システム補綴学	800	補 委 文部科学省
青色可視光励起型低濃度過酸化水素ラジカル殺菌技術を応用した次世代義歯洗浄器開発	菅野 太郎	咬合機能再建学	700	補 委 文部科学省
ナノバブルを用いたIGF-I長期発現プラスミドによる新たな顎骨再生治療法の開発	飯久保 正弘	口腔診断学	800	補 委 文部科学省
矯正的歯の移動時の歯根膜におけるTen-m/Odz3遺伝子の機能解析	酒井 雄一	顎口腔矯正学	1,000	補 委 文部科学省
歯周組織のリモデリングを制御する細胞バイオメカニクスシグナリング機構の解析	千葉 美麗	口腔生理学	800	補 委 文部科学省
胃瘵栄養者の下痢や誤嚥性肺炎予防に食感覚を応用するための基礎的検討	服部 佳功	加齢歯科学	900	補 委 文部科学省
マルチレベル分析を用いた、高齢者の口腔と全身の健康格差に関する社会疫学研究	相田 潤	国際歯科保健学	400	補 委 文部科学省
破骨前駆細胞活性化機構解析による生体吸収制御可能な医療用セラミックの開発	張 曄	歯学イノベーションリ エゾンセンター	1,600	補 委 文部科学省
神経機能を加味した誤嚥ラットモデル作成と感覚刺激に対する嚥下評価法の検討	狩野 充浩	口腔器官構造学	500	補 委 文部科学省
反応動態解析に基づくカタラーゼ阻害剤を併用したヒドロキシルラジカル殺菌技術の確立	庭野 吉己	生体適合性計測工学 講座	1,600	補 委 文部科学省
ミネラルとプロテオームの解析を用いた修復骨成熟過程におけるMMPの役割の検討	笹野 泰之	顎口腔形態創建学	1,300	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
コンドロイチン硫酸Eによる骨形成促進作用と骨補填材への応用に関する研究	宮崎 達也	顎口腔機能創建学	1,400	補 委 文部科学省
メタゲノム解析に基づく根管内細菌叢菌種の全貌解明と根尖性歯周炎の臨床診断への応用	佐藤 拓一	口腔生化学	2,600	補 委 文部科学省
知覚過敏抑制材の効果 光化学トレーサー法による象牙質透過性の解析	兼平 正史	歯科保存学	1,700	補 委 文部科学省
パウダージェットデポジション法による象牙質上HAP高機能インターフェイス創成	野地 美代子	口腔システム補綴学	1,000	補 委 文部科学省
高齢者のための植物由来成分配合オーラルケア剤の開発	濱田 泰三	口腔ケア推進開発寄附講座	1,800	補 委 文部科学省
選択的咀嚼筋制御と各咀嚼筋の代償性機能発現の特性に関する研究	古内 壽	口腔診断学	2,700	補 委 文部科学省
歯科用金属へのプラズマCVDによるチタニアコーティングー白い金属を目指してー	依田 正信	咬合機能再建学	2,200	補 委 文部科学省
顔貌評価における主観的指標と三次元計測に基づく客観的指標の相互連関に関する検討	土井 直洋	口腔システム補綴学	2,200	補 委 文部科学省
生体内義歯床下圧力動態測定に基づくI-POdインプラント支持効果の検証	久保 圭	口腔システム補綴学	1,700	補 委 文部科学省
粘着シリコーンの接着機構の解明と義歯床粘膜面応用に関する研究	佐藤 奈央子	口腔システム補綴学	1,900	補 委 文部科学省
歯科治療ロボットの開発	菊地 聖史	歯科生体材料学	2,400	補 委 文部科学省
細胞間コミュニケーションを利用した歯原性細胞分化誘導法の開発	山田 亜矢	小児発達歯科学	2,200	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
視床下部CRH遺伝子発現を指標とした顎顔面領域における慢性痛発症機構の解明	笠原 江利子	口腔診断学	1,400	補 委	文部科学省
細胞外カルシウムおよびリン酸感知機構を軸とした象牙質再生法の基盤構築	根本 英二	歯内歯周治療学	1,000	補 委	文部科学省
マウスモデルを用いたレジニアレルギーに関する研究	佐々木 啓一	口腔システム補綴学	800	補 委	文部科学省
口腔粘膜疾患におけるカンジダ菌種の網羅的解析による新たな口腔ケア治療戦略	笹野 高嗣	口腔診断学	500	補 委	文部科学省
多光子励起顕微鏡によるin vivo観察法を用いた硬組織細胞間のネットワーク解析	若森 実	歯科薬理学	900	補 委	文部科学省
麻薬プロドラッグを用いた新たな疼痛管理法への挑戦	正木 英二	歯科口腔麻酔学	600	補 委	文部科学省
iPS細胞を用いた歯の再生に向けた基盤技術の開発	山本 照子	顎口腔矯正学	1,100	補 委	文部科学省
細胞親和性及び骨再生を促進する環境応答性ドラッグキャリアーの開発	穴田 貴久	顎口腔機能創建学	1,500	補 委	文部科学省
温泉成分である硫化水素は気管支喘息治療に有効か？	水田 健太郎	歯科口腔麻酔学	1,900	補 委	文部科学省
メタボローム解析で拓く癌細胞の代謝生物学	高橋 信博	口腔生化学	1,700	補 委	文部科学省
超高純度鉄の歯科治療への応用	渡辺 誠	加齢歯科学	2,000	補 委	文部科学省
骨再生開始の核として働く人工石灰化球の創製	鈴木 治	顎口腔機能創建学	1,600	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
バイオミメティクス工学に基づいた高機能インプラントの開発	島内 英俊	歯内歯周治療学	1,600	補 委	文部科学省
人工的顎裂への骨再生材料と骨髄幹細胞との混合移植による骨形成	越後 成志	口腔外科学	2,700	補 委	文部科学省
超音波ハプティックセンサ技術を用いた齶蝕リスク評価装置の臨床応用	小関 健由	予防歯科学	1,500	補 委	文部科学省
機能性糸を用いた生体硬組織・軟組織の完全清掃法の開発と臨床への応用	伊藤 恵美	予防歯科学	1,700	補 委	文部科学省
ホロカルボキシラーゼ合成酵素を介したピオチンによる炎症制御機構の解明	黒石 智誠	口腔分子制御学	1,800	補 委	文部科学省
口腔bifidobacteriaの役割～生物学的性状と口腔疾患との関連～	中條 和子	口腔生化学	1,400	補 委	文部科学省
欠損補綴治療における難易度の定量化	三好 慶忠	加齢歯科学	900	補 委	文部科学省
ECRプラズマCVDセラミックコーティングの硬質レジン前装冠への応用	丸森 亮太郎	咬合機能再建学	1,900	補 委	文部科学省
低弾性インプラントのメカノバイオリジーとストレスシールドニング効果	白石 成	顎口腔機能創建学	1,400	補 委	文部科学省
パウダージェットデポジションHAp膜安定化と新規歯科治療への応用に関するTR	赤塚 亮	次世代歯科材料工学講座	1,600	補 委	文部科学省
遺伝的アルゴリズムを用いたBMP-2共活性無機元素複合薬の開発と評価	本田 義知	顎口腔機能創建学	1,400	補 委	文部科学省
オーファン受容体を標的とした気道リモデリング阻止機構の解明と臨床応用	水田 文子	歯科口腔麻酔学	1,200	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
口腔領域における脳磁図検査の可能性を極める	小枝 聡子	顎顔面外科学	2,000	補 委 文部科学省
アメロジェニンスプライスアイソフォームの間葉系細胞分化に与える影響に関する研究	八幡 薫子	口腔障害科学	2,200	補 委 文部科学省
骨形成因子による象牙質形成メカニズムの解明と再生への応用	丸谷 由里子	小児発達歯科学	2,300	補 委 文部科学省
内軟骨性骨化と下顎頭軟骨のメカニカルストレス応答におけるOdz3の機能解析	竹下 信郎	顎口腔矯正学	1,700	補 委 文部科学省
金属ガラス製矯正用ミニスクリューの開発研究	宮島 悠旗	顎口腔矯正学	2,800	補 委 文部科学省
軟骨細胞分化過程にある間葉系細胞の機械的刺激による分化制御の分子機構	高坂 久美子	顎口腔矯正学	1,800	補 委 文部科学省
歯周病原細菌によるDC-SIGNを介したクロスプライミング誘導機構の解明	多田 浩之	歯内歯周治療学	1,600	補 委 文部科学省
口内炎モデルを用いた創傷治癒過程促進のメカニズムの解析	細川 亮一	予防歯科学	1,700	補 委 文部科学省
メタボロミクスで紐解く口腔バイオフィルムの病原活性～in vivoでの解明～	鷺尾 純平	口腔生化学	1,500	補 委 文部科学省
カプサイシンを利用した、骨欠損修復メカニズムにおける感覚神経の役割に関する研究	中村 恵	顎口腔形態創建学	900	補 委 文部科学省
糖アルコールによる口腔バイオフィルム・コントロール戦略	堀 はるみ (宮澤はるみ)	口腔生化学	800	補 委 文部科学省
良好な麻酔からの覚醒とそのメカニズムの解明	大谷 法理	歯科口腔麻酔学	600	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
交感神経抑制による歯痛制御理論の確立	示野 陽一	口腔診断学	900	補 委 文部科学省
唾液分泌増強作用を有する生薬成分配合義歯安定剤の開発	洪 光	歯学イノベーションリゾンセンター	700	補 委 文部科学省
顎顔面骨再建に向けた完全連通孔を有する高機能型人工骨の創製	井川 和代	口腔システム補綴学	800	補 委 文部科学省
IGF-1を用いた顎骨のアンチエイジング治療への挑戦	小嶋 郁穂	口腔診断学	800	補 委 文部科学省
咀嚼による口腔感覚が胃の運動と胃排出に与える影響の解明	小嶺 祐子	加齢歯科学	700	補 委 文部科学省
肺線維化機構における性ステロイドホルモンの関与	三木 康宏	口腔病理学	1,200	補 委 文部科学省
骨メカノセンサーネットワークによる機械刺激受容シグナル伝達機構の解明	吉田 卓史	歯科薬理学	900	補 委 文部科学省
マクロファージ賦活化による慢性筋痛新規治療法の開発	土谷 昌広	加齢歯科学	900	補 委 文部科学省
力学親和性を有する新規チタン合金とリン酸カルシウム成膜法の生体内評価	鈴木 祐子	口腔システム補綴学	1,000	補 委 文部科学省
コラーゲン架橋構造の定量化を指標にしたインプラント周囲骨骨質評価	伊奈 慶典	口腔システム補綴学	1,300	補 委 文部科学省
バイオフィーム形成抑制能を有するインプラント用チタン合金の開発	高橋 正敏	歯科生体材料学	800	補 委 文部科学省
安全な疼痛抑制遺伝子治療法の確立	的場 あつ子 (青井あつ子)	歯科口腔麻酔学	800	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
ラット顎骨における硬組織局所的損傷時における歯の移動促進効果の解析	西村 真	口腔障害科学	1,100	補 委 文部科学省
宿主-細菌インターフェイスにおける歯周炎発症メカニズムの解明	真柳 弦	口腔生化学	800	補 委 文部科学省
長期前向きコホートによる歯周病の脳卒中発症リスクの解明	大井 孝	加齢歯科学	600	補 委 文部科学省
低濃度過酸化水素のラジカル殺菌能を高度利用した次世代青色レーザー歯ブラシの開発	猪飼 紘代	咬合機能再建学	1,500	補 委 文部科学省
原子間力顕微鏡による定量的メカニカルストレスに対する骨の単一細胞の応答性	鈴木 誠	顎口腔矯正学	1,090	補 委 文部科学省
パウダージェットデポジションHAp膜による新規歯科治療の臨床応用に関するTR	赤塚 亮	生体適合性計測工学講座	1,020	補 委 文部科学省
東日本大震災が被災地小児の全身成長に与える影響	佐藤 亨至	口腔生理学	1,300	補 委 文部科学省
低酸素環境下の口腔癌に対して有効な化学療法の確立	遠藤 学	口腔外科学	1,300	補 委 文部科学省
菌体成分、特にNOD1ならびにNOD2リガンドの鎮痛作用	佐藤 匡	歯内歯周治療学	700	補 委 文部科学省
金属アレルギー発症機序に関する解析	金原 正敬	顎口腔矯正学	700	補 委 文部科学省
金属イオンの抗原提示に関わる自己タンパク質の同定	田中 志典	口腔分子制御学	700	補 委 文部科学省
フッ素含有リン酸塩担体によるVEGF吸着・徐放調節技術に基づく骨造成方法の確立	塩飽 由香利	口腔システム補綴学	700	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
急性期の障害肝細胞における肝細胞死・再生の指標となる血漿メチオニン値に関する研究	佐藤 和重	移植・再建・内視鏡	1,000	補委 文部科学省
ドナーソースとしての膵外分泌細胞の有用性に関する検討	関口 悟	移植・再建・内視鏡外科	3,000	補委 文部科学省
ナノスケール蛍光粒子を用いた新規センチネルリンパ節生検法の開発	亀井 尚	移植・再建・内視鏡外科	700	補委 文部科学省
心停止肝移植向上の為にCO含有パッファーpost conditioning	小林 仁存	移植・再建・内視鏡外科	600	補委 文部科学省
非侵襲性微小組織診断システムの導入による糖尿病治療のメディカルイノベーション	里見 進	移植・再建・内視鏡外科	7,300	補委 文部科学省
定量的プロテオミクスとメタボロミクスの融合による膵癌薬剤感受性予測と耐性克服	元井 冬彦	胃腸外科	1,100	補委 文部科学省
大腸癌転移を制御する候補遺伝子群の次ステップの研究	三浦 康	胃腸外科	1,100	補委 文部科学省
大腸全摘および回腸嚢肛門吻合術後の回腸嚢粘膜変化の解明	渡辺 和宏	胃腸外科	1,200	補委 文部科学省
ジルコニアオールセラミック修復用ベニヤポーセレンの強度に関する研究	三浦 賞子	咬合回復科	600	補委 文部科学省
動力学解析に基づくインプラント周囲骨応力挙動に関する研究	重光 竜二	咬合回復科	1,800	補委 文部科学省
低強度・高周波バイブレーションによる骨形成活性効果のインプラントへの応用	小川 徹	咬合回復科	2,100	補委 文部科学省
超弾性チタン合金へのECRプラズマ酸化による生体力学親和性インプラントの開発	折居 雄介	咬合回復科	1,200	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
歯垢の付着を抑制する歯冠用硬質レジンの開発	泉田 明男	咬合回復科	1,800	補委 文部科学省
顔面三次元計測に基づく義歯床形態が顔面の整容に及ぼす影響に関する検討	埴 総司	咬合回復科	1,200	補委 文部科学省
リン酸カルシウム-アルギン酸-硫酸カルシウム複合化による新規骨再建材料の創製	富士 岳志	咬合回復科	1,300	補委 文部科学省
触覚センサによる義歯床下圧測定とNaF-PETを用いた床下骨代謝動態に関する研究	末永 華子	咬合回復科	1,300	補委 文部科学省
構音機能時の電氣的パトグラムと舌圧を活用した嚙下・構音障害への訓練体系の検討	佐々木 具文	咬合回復科	1,000	補委 文部科学省
遺伝子不安定性陽性膵癌のフレームシフト変異由来ペプチドに対する免疫応答	岡田 恭徳	肝・胆・膵外科	1,000	補委 文部科学省
4つの機能を有する次世代型新規二重特異性人工抗体を用いた癌分子標的免疫治療の確立	林 洋毅	肝・胆・膵外科	1,400	補委 文部科学省
マルチオミクス統合解析アプローチに基づく分子標的強化門脈塞栓術と肝肥大効率化	小野川 徹	肝・胆・膵外科	1,100	補委 文部科学省
癌細胞の浸潤と転移における、新規Dishevelled関連蛋白GCF2の機能解析	大塚 英郎	肝・胆・膵外科	3,200	補委 文部科学省
大量肝切除限界超越のための自家骨髄細胞移植による肝再生療法の研究と開発	力山 敏樹	肝・胆・膵外科	1,000	補委 文部科学省
アcantアメーバ角膜炎に対するナノテクノロジーを用いた新規治療法の開発	横倉 俊二	眼科	2,100	補委 文部科学省
新しい術前視機能温存・網膜保護システム(黄斑剥離を伴う網膜剥離眼)の構築	國方 彦志	眼科	1,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
妊娠経過における快適性の変化	武石 陽子	看護部	1,050	補 委 文部科学省
本邦で見出された新規多剤耐性変異N348IのHIV逆転写酵素に及ぼす影響	児玉 栄一	感染科	800	補 委 文部科学省
Translocation defective逆転写酵素阻害剤に対する耐性機序	芦野 有悟	感染症科	2,400	補 委 文部科学省
トランスジェニックEkerラットを用いたアミノ酸置換型Tsc2の機能解析	塩野 雅俊	がんセンター	2,100	補 委 文部科学省
多光子励起顕微鏡によるDDS製剤体内動態の新規評価法の開発	大内 憲明	がんセンター	1,400	補 委 文部科学省
新規開発した円皮鍼を用いた誤嚥性肺炎の予防効果に関する研究	菊地 章子	漢方内科	1,000	補 委 文部科学省
冷保存前灌流及びプロスタグランジンE1による肝温阻血再灌流障害抑制の試み	赤松 順寛	救命救急センター	500	補 委 文部科学省
免疫系細胞による菌根吸収制御機構の解明	菅崎 弘幸	矯正歯科	8,000	補 委 文部科学省
骨細胞に対する機械的刺激によるCTGFの発現とアポトーシスに関する研究	星 健治	矯正歯科	1,800	補 委 文部科学省
TNFレセプター欠損キメラマウスを用いた矯正学的菌の移動機序の解明	北浦 英樹	矯正歯科	1,000	補 委 文部科学省
慢性下肢虚血に対する新しい遺伝子治療システムの開発	武田 睦	形成外科	1,600	補 委 文部科学省
ラット下肢同種移植の急性拒絶反応における小胞体ストレス応答	李 陽成	形成外科	2,200	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
制御性T細胞の樹状細胞抑制に関与する転写因子の同定と免疫療法の開発	大西 康	血液・免疫科	2,000	補 委	文部科学省
正常人、SLE患者T細胞のオートファジー機能とそのアポトーシスに対する役割の解析	藤井 博司	血液・免疫科	1,000	補 委	文部科学省
喘息のインフルエンザウイルス感染による急性呼吸不全における自然免疫細胞の関与	青柳 哲史	検査部	2,100	補 委	文部科学省
ヒブワクチン導入前後のインフルエンザ菌莢膜遺伝子重複と抗体親和力の研究	徳田 浩一	検査部	900	補 委	文部科学省
多機能ジーンエクスプレッサーを用いた次世代微生物検査システムの研究	八田 益充	検査部	600	補 委	文部科学省
シェーグレン症候群におけるIL-18の病因論的役割解析を目指したマウスモデル確立	佐藤 恭子	口腔診断科	800	補 委	文部科学省
ナノバブルと超音波を用いた血管腫の四次元画像診断システムおよび遺伝子治療法の開発	阪本 真弥	口腔診断科	2,400	補 委	文部科学省
ナノバブルと超音波を用いた新しい遺伝子治療による超悪性唾液腺腫瘍の攻略	阪本 真弥	口腔診断科	900	補 委	文部科学省
シェーグレン症候群のT細胞系免疫異常におけるIL-18およびTh17の役割	酒井 梓	口腔診断科	900	補 委	文部科学省
唾液由来鎮痛物質による新たな顎顔面領域の慢性痛制御理論の確立	庄司 憲明	口腔診断科	900	補 委	文部科学省
口腔粘膜のびらん潰瘍病変におけるTh17分化誘導機構とオートファジーの関与	菅原 由美子	口腔診断科	1,700	補 委	文部科学省
幻視の神経解剖学的、神経薬理学的基盤に関する研究	西尾 慶之	高次機能障害科	1,000	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
MRエラストグラフィによる非侵襲的頭蓋内圧・コンプライアンス・脳自動調節能評価	中川 敦寛	高度救命救急センター	1,900	補委 文部科学省
縦断的疫学研究に基づく歯周病と動脈硬化リスクファクターとの関連の解明	村上 任尚	高齢者歯科治療部	800	補委 文部科学省
生体In vivoパッチクランプ法を用いた咬合・咀嚼と精神活動との関係の探索	坪井 明人	高齢者歯科治療部	1,800	補委 文部科学省
循環腫瘍細胞におけるEGFR耐性遺伝子変異同定に基づく肺癌個別化治療の開発	井上 彰	呼吸器内科	1,000	補委 文部科学省
肺組織幹細胞への再分化転換機構を応用した炎症性肺疾患の新規治療法の開発	菊地 利明	呼吸器内科	2,600	補委 文部科学省
誘導多能性幹細胞から気管支肺胞上皮幹細胞への分化誘導とその臨床応用の探索	菊地 利明	呼吸器内科	800	補委 文部科学省
核内受容体による線維化調節機構とその制御	久田 修	呼吸器内科	1,300	補委 文部科学省
気道電解質分泌に対するToll様受容体シグナルの調節機構の解明	玉田 勉	呼吸器内科	600	補委 文部科学省
ピルフェニドン標的分子の同定	榊原 智博	呼吸器内科	1,700	補委 文部科学省
ヒアルロン酸の代謝動態とCD44の相互作用が肺癌の生物学的悪性度を規定する	前田 寿美子	呼吸器内科	1,000	補委 文部科学省
間葉系幹細胞由来肺組織保護因子の網羅的同定と治療応用	大河内 眞也	呼吸器内科	500	補委 文部科学省
EGFR変異陽性肺癌の発症関連因子の解析	福原 達朗	呼吸器内科	1,400	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
婦人科疾患の治療前後における性機能、排尿機能及びQOLの変化に関する研究	石田 志子	産科	600	補 委 文部科学省
卵巣明細胞腺癌肝細胞マーカーの同定および標的分子としての臨床応用	鈴木 吉也	産科	1,500	補 委 文部科学省
若年女性の子宮頸がん検診受診率や子宮頸がん発症の推移とその要因の前向き調査	岡本 聡	産科	1,500	補 委 文部科学省
ナノバブルと超音波を用いた難治性唾液腺癌に対する新しい動注療法の開発	川口 なつみ	歯科顎顔面外科	1,500	補 委 文部科学省
口腔癌のセツキシマブ感受性とKRAS、BRAF、PIK3CA変異の解析	篠原 文明	歯科口腔外科	2,500	補 委 文部科学省
骨吸収抑制薬ビスホスホネートによる顎骨壊死モデルマウスの作成と抗腫瘍作用の研究	大泉 丈史	歯科顎顔面外科	600	補 委 文部科学省
歯髄専用血流計を試作し、歯髄血流パラメーターに基づく無痛歯髄診査法を開発する	井川 資英	歯周病科	500	補 委 文部科学省
水プラズマによる生体に優しい低温滅菌法の開発と実用化	玉澤 かほる	歯周病科	2,400	補 委 文部科学省
セメント芽細胞における細胞外カルシウムによるFGF-2発現誘導機構の解析	金谷 聡介	歯周病科	1,500	補 委 文部科学省
RFIDの口腔内設置が連携する社会安全と健康増進のバリューチェーン	石幡 浩志	歯周病科	2,600	補 委 文部科学省
培養細胞治療に最適化した、フルメタル・バリアメンブレンを用いる次世代歯周再生療法	石幡 浩志	歯周病科	1,800	補 委 文部科学省
失語症に対する経頭蓋磁気刺激と経頭蓋直流電気刺激の解明	森 隆行	肢体不自由リハ	1,200	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
運動イメージ能力への介入による脳卒中片麻痺患者の運動機能回復	西嶋 一智	肢体不自由リハ	1,200	補 委 文部科学省
脳卒中後歩行障害に対する機能回復型ブレイン・マシンインターフェイス開発	竹内 直行	肢体不自由リハ	1,900	補 委 文部科学省
聴覚遠心性経路を利用し、感音難聴の周波数選択性の改善を目指す基礎研究	日高 浩史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,100	補 委 文部科学省
鼻腔におけるVASOHIBIN1の発現、機能についての解析	鈴木 貴博	耳鼻咽喉・頭頸部外科	200	補 委 文部科学省
EMTによる頭頸部癌悪性化および癌幹細胞活性化機構の解析	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,700	補 委 文部科学省
胎盤発生過程におけるCdx2のエピジェネティックな分子機構とヒト胎盤幹細胞の樹立	菅原 準一	周産母子センター	1,700	補 委 文部科学省
びまん性絨毛膜羊膜へモジデローシスが胎児肺の成長発達に与える影響の解明	渡邊 達也	周産母子センター	1,700	補 委 文部科学省
敗血症性副腎不全への挑戦的治療戦略	江島 豊	手術部	1,800	補 委 文部科学省
血漿DNAの経時的エピジェネティクス解析による大腸癌治療効果予測マーカーの開発	下平 秀樹	腫瘍内科	900	補 委 文部科学省
大腸がんの治療効果・予後予測システムの開発	高橋 信	腫瘍内科	1,500	補 委 文部科学省
拡張不全型心不全の実態解明と効果的治療戦略の確立	高橋 潤	循環器内科	700	補 委 文部科学省
肺高血圧における肺動脈病変の血管内腔および血管壁観察ツールの開発	三浦 裕	循環器内科	1,400	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
身体非活動と石灰化:心臓・血管における石灰化病変の運動による予防確立と機序解明	松本 泰治	循環器内科	2,100	補 委 文部科学省
カルバマゼピンの骨代謝改善効果に関する基礎的研究	高橋 温	障害者歯科治療部	1,000	補 委 文部科学省
胎内環境のバイオマーカーとしての乳歯エナメル質含有元素の分析	猪狩 和子	障害者歯科治療部	700	補 委 文部科学省
B型肝炎ウイルスの遺伝子型および変異が病態へ与える影響についての包括的解析	井上 淳	消化器内科	1,500	補 委 文部科学省
食道扁平上皮癌に対するターゲットとしての脂質過酸化物によるEGFR制御機構の検討	宇野 要	消化器内科	1,400	補 委 文部科学省
クローン病感受性遺伝子IL12Bが感受性を亢進させる分子メカニズムの解明	遠藤 克哉	消化器内科	1,200	補 委 文部科学省
肝硬変で出現するL-シスチン・L-グルタミン酸不均衡が抗原提示細胞に与える影響	嘉数 英二	消化器内科	1,900	補 委 文部科学省
新たな膵性糖尿病治療法の開発に向けた膵線維化に伴う膵島障害機序の解析	菊田 和宏	消化器内科	900	補 委 文部科学省
多元的解析モデルを用いたウイルス関連肝癌免疫逃避機構の解明と制御	近藤 泰輝	消化器内科	1,700	補 委 文部科学省
TNF-SF15は腸管上皮細胞にオートファジーを誘導する	高橋 成一	消化器内科	1,100	補 委 文部科学省
Notch遺伝子を介した腸上皮化生進展過程における特異な胃癌幹細胞誘導機構の解明	今谷 晃	消化器内科	1,700	補 委 文部科学省
潰瘍性大腸炎感受性遺伝子NKX2.3が感受性を亢進させる分子メカニズムの解明	志賀 永嗣	消化器内科	1,130	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
胃粘膜上皮における自然免疫応答と分化制御・発癌のクロストークの解明	浅野 直喜	消化器内科	2,000	補委 文部科学省
原発性胆汁性肝硬変の新規ウイルス感染の可能性とアネロウイルス属の疾患関連性の検討	二宮 匡史	消化器内科	1,400	補委 文部科学省
膵癌組織中に存在する骨髄由来細胞の網羅的発現解析とそれを標的とする治療法の開発	廣田 衛久	消化器内科	700	補委 文部科学省
膵癌幹細胞抑制性microRNAの同定と治療応用	濱田 晋	消化器内科	1,400	補委 文部科学省
偽性低アルドステロン血症Ⅱ型の原因遺伝子同定・機能解析と高血圧発症機序の解明	鎌田 文顕	小児科	700	補委 文部科学省
NOGマウスを用いたWIP欠損症およびWASP異常症の発症機構と分子病態の解明	笹原 洋二	小児科	1,400	補委 文部科学省
ヒツジ胎仔を用いた子宮内炎症がびまん性脳白質損傷の発症に与える影響の解明	松田 直	小児科	1,100	補委 文部科学省
先天性髄鞘化障害のCGHアレイを用いた網羅的解析	植松 貢	小児科	1,000	補委 文部科学省
骨形成不全症の遺伝学的背景の解明: 遺伝子型によるオーダーメイド治療への展開	菅野 潤子	小児科	1,000	補委 文部科学省
分子生物学的手法を用いた胆道閉鎖症術後の肝内胆管再生機構の解明	田中 拡	小児科	800	補委 文部科学省
ゲノムコピー数異常領域における、ウェスト症候群の原因遺伝子の同定	福與 なおみ	小児科	2,200	補委 文部科学省
歯再生へ向けた低分子化合物を用いた歯髄幹細胞の樹立	岩本 勉	小児歯科	700	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
象牙芽細胞分化における細胞間結合の役割解明とその制御法の開発	岩本 勉	小児歯科	3,100	補 委 文部科学省
細胞リプログラミングを応用した人工口腔組織幹細胞の作成とその評価	福本 恵美子	小児歯科	6,900	補 委 文部科学省
マグネシウムをターゲットとした元素置換型齲蝕予防法の開発	福本 恵美子	小児歯科	1,000	補 委 文部科学省
相同組換えによる安全な遺伝子修復法のアデノシンデアミナーゼ欠損症への適用	内山 徹	小児腫瘍科	1,600	補 委 文部科学省
腎尿細管液の酸性化とアルブミン尿による腎障害機序の解明と新規腎臓病治療戦略の開発	阿部 倫明	腎・高血圧・内分泌科	1,400	補 委 文部科学省
腎臓酸素代謝を生かした腎保護機序の解明と腎機能イメージングの開発	森 建文	腎・高血圧・内分泌科	1,900	補 委 文部科学省
尿毒症物質排泄機構増強による腎不全治療	鈴木 健弘	腎・高血圧・内分泌科	800	補 委 文部科学省
多系統萎縮症における脳内 α -シヌクレイン凝集体の画像化とその臨床応用	菊池 昭夫	神経内科	1,800	補 委 文部科学省
グルコセレブロシダーゼ変異が誘導する α -シヌクレイン細胞毒性に関する研究	菅野 直人	神経内科	1,200	補 委 文部科学省
シヌクレインパチーにおけるプリオン仮説の分子病態解明	長谷川 隆文	神経内科	1,500	補 委 文部科学省
FUS変異を持つ筋萎縮性側索硬化症の大家系における剖検病理を基盤とした病態解析	鈴木 直輝	神経内科	1,500	補 委 文部科学省
形状記憶合金を用いた人工心筋の研究	秋山 正年	心臓血管外科	700	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
心臓大血管周術期腎障害の機序解明と新たな腎保護ストラテジーの確立	本吉 直孝	心臓血管外科	500	補委 文部科学省
「ストレス性下痢」～治療の新展開～	町田 貴胤	心療内科	500	補委 文部科学省
ARMSにおける社会的認知と機能予後との関係	伊藤 文晃	精神科	1,400	補委 文部科学省
うつ病に対するオンライン認知行動療法プログラムの開発	原田 伸彦	精神科	700	補委 文部科学省
歯根膜由来上皮-間葉相互作用におけるセメント質再生に関する研究	下西 充	総合歯科診療部	1,700	補委 文部科学省
歯の喪失は認知症のリスクになるかー脳MRIデータベースの構築	菊池 雅彦	総合歯科診療部	1,300	補委 文部科学省
エリスロポエチン受容体およびHIFを標的とする新しい心不全治療戦略の開発	加賀谷 豊	卒後研究センター	1,100	補委 文部科学省
シミュレーターを用いた看護技術教育のプログラム開発と評価に関する研究	門馬 靖武	卒後研究センター	500	補委 文部科学省
癌幹細胞様細胞を狙ったNotchシグナル阻害による胆道癌新規分子標的治療の確立	水間 正道	卒後研修センター	2,300	補委 文部科学省
肝臓におけるアミノ酸代謝のメタボリックシンドローム形成に及ぼす役割	宇野 健司	糖尿病代謝科	1,700	補委 文部科学省
肝臓-膵β細胞間神経ネットワークを利用した膵β細胞増量治療の開発	今井 淳太	糖尿病代謝科	1,700	補委 文部科学省
血管内皮細胞の全身代謝や寿命に及ぼす役割	長谷川 豊	糖尿病代謝科	1,300	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
加齢による摂食嚥下セルセンシング不全の機序解明とそれの再生医療への応用	海老原 覚	内部障害リハ	4,000	補 委 文部科学省
マンモグラフィ精度管理—診断精度の底上げを目指す基盤整備—	鈴木 昭彦	乳腺・内分泌科	900	補 委 文部科学省
CEDを用いた新しいてんかん治療システムの開発	岩崎 真樹	脳神経外科	500	補 委 文部科学省
高過剰圧波による高次脳機能損傷:ブレインマシンインターフェースによる機能回復	中川 敦寛	脳神経内科	5,700	補 委 文部科学省
精巣腫瘍における新しいバイオマーカーの確立	山田 成幸	泌尿器科	1,000	補 委 文部科学省
ニューロバイオニクスの作用機序を探る—新たな手法による基礎的・臨床的検討—	中川 晴夫	泌尿器科	2,800	補 委 文部科学省
加齢に伴う過活動膀胱の発生メカニズムの解明と新治療法に関する研究	中川 晴夫	泌尿器科	700	補 委 文部科学省
自然免疫機構の皮膚角層バリア機能形成における影響	菊地 克子	皮膚科	1,100	補 委 文部科学省
皮膚角化細胞におけるアクアポリン3発現の制御	大谷 朋之	皮膚科	1,000	補 委 文部科学省
神経シグナルによる膝β細胞増殖機構における血管系の関与の検討	今井 淳太	病院	4,800	補 委 文部科学省
生殖細胞特異的に発現するエストロゲン受容体beta標的遺伝子Bnc1の機能解析	井原 基公	婦人科	1,100	補 委 文部科学省
新規血管新生阻害因子Vasohibinを用いた子宮頸癌における血管新生阻害薬開発	吉永 浩介	婦人科	500	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
子宮内膜癌におけるステロイドサルファターゼ阻害剤を用いた新たな内分泌療法の確立	志賀 尚美	婦人科	1,200	補 委 文部科学省
卵巣癌発症におけるMAT2Aの機能解析	大槻 健郎	婦人科	1,400	補 委 文部科学省
重症免疫不全マウスを用いた、ヒト卵巣凍結融解モデルマウス作成に関する検討	鍋島 寛志	婦人科	1,800	補 委 文部科学省
副腎静脈サンプリングを応用した原発性アルドステロン症の低侵襲根治術用器具開発	高瀬 圭	放射線診断科	10,700	補 委 文部科学省
バーチャル・リアリティー下MRI検査:心理的検討と閉所恐怖症・小児例への臨床応用	麦倉 俊司	放射線診断科	1,700	補 委 文部科学省
認知症の脳機能画像解析における縦断的評価の最適化および標準化に関する研究	金田 朋洋	放射線診断科	1,400	補 委 文部科学省
ビーグル成犬における末梢動脈瘤モデル作成法の開発	清治 和将	放射線部	200	補 委 文部科学省
ボンディング材の重合特性改善によるコンポジットレジン接着耐久性の向上	遠藤 達雄	保存修復科	900	補 委 文部科学省
敗血症に関連する尿濃縮の破綻機序解明とナトリウムを主体とした体液量維持療法の検討	外山 裕章	麻酔科	600	補 委 文部科学省
吸入麻酔薬と静脈麻酔薬による免疫細胞アポトーシス誘導機序の解明及びその相違の解析	黒澤 伸	麻酔科	800	補 委 文部科学省
受動喫煙の脳心血管リスク:前向きコホート研究による縦断的検討	井上 隆輔	メディカルITセンター	700	補 委 文部科学省
医師の診療アルゴリズムを明確にした医療情報の抽出およびデータベース化	中山 雅晴	メディカルITセンター	1,300	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
LC/ESI-MS/MSによる血中シロリムスの迅速TDM解析法の構築	佐藤 真由美	薬剤部	600	補委 文部科学省
がん治療処方設計支援システムの構築	島田 美樹	薬剤部	1,200	補委 文部科学省
ソラフェニブ誘発性肝障害における早期予測マーカーの探索	鈴木 裕之	薬剤部	2,100	補委 文部科学省
胆汁酸と脂質・糖ホメオスタシスとの関連精査による新たな代謝性疾患治療法の構築	眞野 成康	薬剤部	4,100	補委 文部科学省
胆汁酸メタボローム解析システムの構築	眞野 成康	薬剤部	1,300	補委 文部科学省
細胞治療のための臍帯血由来間葉系幹細胞バンク化を目指した基礎的研究	峯岸 正好	輸血部	1,000	補委 文部科学省
周術期肺がん患者における二次元口内気体解析による口腔環境指標の構築	丹田 奈緒子	予防歯科	2,400	補委 文部科学省
メタボリックシンドロームへのリハビリテーションにおける組織一酸化窒素系の解明	伊藤 大亮	リハビリステーション部	1,700	補委 文部科学省
前頭葉性失書に対する発現機序に基づく訓練法の開発およびその効果評価	遠藤 佳子	リハビリステーション部門	800	補委 文部科学省
高齢者の無症候性脳所見が日常生活機能障害に及ぼす影響の縦断的評価	富田 尚希	老年科	600	補委 文部科学省
口腔癌診断のための病巣集積型ナノバブルと高周波超音波を用いた画像診断法の開発	森 士朗	顎顔面外科	4,900	補委 文部科学省
FGFR2関連頭蓋骨縫合早期癒合症の疾患モデルの開発と内科的治療に向けての検討	森 士朗	顎顔面外科	1,300	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
パラサイト―義歯床用材料間インターフェイスの解析	竹内 裕尚	顎顔面口腔再建	1,700	補 委 文部科学省
間葉系幹細胞とαリン酸三カルシウムを用いた顎顎裂骨再生部への矯正学的歯の移動	徳川 宜靖	顎口腔機能治療部	900	補 委 文部科学省
人工多能性幹細胞を用いた高効率エナメル芽細胞分化誘導法の確立	新垣 真紀子	小児歯科	1,300	補 委 文部科学省
肺癌幹細胞特異的増殖メカニズムの解明	鈴木 隆哉	呼吸器外科	1,300	補 委 文部科学省
子宮内胎児機能不全モデルによる脳出血発生機序の研究	伊藤 拓哉	未来医工学治療開発センター	800	補 委 文部科学省
新規薬剤の生体内スクリーニングシステムの確立と網膜保護用デバイスの開発	阿部 俊明	細胞治療学	17,370	補 委 厚生労働省
ゲノムインプリンティング異常症5疾患の実態把握に関する全国多施設共同研究	有馬 隆博	環境遺伝医学総合研究センター 情報遺伝学分野	10,000	補 委 厚生労働省
先天性ゲノムインプリント異常症8疾患と生殖補助医療の影響に関する研究	有馬 隆博	環境遺伝医学総合研究センター 情報遺伝学分野	5,000	補 委 厚生労働省
新型インフルエンザ発生時の公衆衛生対策の再構築に関する研究	押谷 仁	微生物学	8,775	補 委 厚生労働省
生活習慣病対策が医療費・介護保険給付費に及ぼす効果に関する研究	柿崎 真沙子	公衆衛生学	5,470	補 委 厚生労働省
妊婦における医療用医薬品の安全性に関するエビデンスの構築のための薬剤疫学研究の基盤整備および実践	栗山 進一	環境遺伝医学総合研究センター 分子疫学	2,000	補 委 厚生労働省
高グリシン血症の実態把握と治療法開発に関する研究	呉 繁夫	小児科	10,000	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	濃沼 信夫	医療管理学	18,021	補 委 厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	佐々木 巖	生体調節外科	1,500	補 委 厚生労働省
大動脈瘤治療薬開発を目指した基礎的・臨床的基盤研究	佐藤 公雄	循環器内科	9,500	補 委 厚生労働省
出生コホートによる難分解性有機汚染物質(PoPs)ばく露の次世代影響の検証	佐藤 洋	環境保健医学	10,000	補 委 厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	下川 宏明	循環器内科	1,000	補 委 厚生労働省
心血管疾患患者の介護予防方策を明らかにするための大規模コホート研究	柴 信行	循環器EBM開発学 寄附講座	6,776	補 委 厚生労働省
難治性膵疾患に関する調査研究	下瀬川 徹	消化器病態学	48,462	補 委 厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	菅原 明	生物化学	2,300	補 委 厚生労働省
自律神経指標と末梢循環の計測による統合医療の科学的評価方法の確立	関 隆志	先進漢方治療医学 (ソムラ) 寄附講座	7,470	補 委 厚生労働省
統合失調症における社会生活機能障害の評価・支援—MATRICS-CCB日本語版による認知機能障害の評価と治療計画への応用	曾良 一郎	精神・神経生物学	11,200	補 委 厚生労働省
運動失調症の病態解明と治療法に関する研究	武田 篤	神経内科	2,000	補 委 厚生労働省
各種禁煙対策の経済影響に関する研究—医療費分析と費用効果分析	辻 一郎	公衆衛生学	10,240	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
介護予防サービスの効果評価に関する研究	辻 一郎	公衆衛生学	7,795	補 委	厚生労働省
プリオン病予防の実用化に関する研究	堂浦 克美	神経化学	26,923	補 委	厚生労働省
ソトス症候群のスクリーニング・診断システムの開発と実用化	富田 博秋	精神・神経生物学	10,000	補 委	厚生労働省
サハラ以南のアフリカにおけるエイズ・結核ネットワーク構築に関する研究	服部 俊夫	感染病態学	7,693	補 委	厚生労働省
遺伝性鉄芽球性貧血の診断分類と治療法の確立	張替 秀郎	血液・免疫病学	10,000	補 委	厚生労働省
保健活動の質の評価指標開発	平野 かよ子	保・国際看護管理学	3,688	補 委	厚生労働省
コステロ症候群・CFC症候群類縁疾患の診断基準作成と治療法開発に関する研究	松原 洋一	遺伝病学	10,000	補 委	厚生労働省
分子診断に基づくヌーナン症候群の診断・治療ガイドライン作成と新規病因遺伝子探索	松原 洋一	遺伝病学	10,000	補 委	厚生労働省
がん対策に資するがん患者の療養生活の質の評価方法の確立に関する研究	宮下 光令	保・緩和ケア看護学	14,344	補 委	厚生労働省
急性心筋梗塞に対する病院前救護や遠隔医療等を含めた超急性期診療体制の構築に関する研究	安田 聡	循環器内科	500	補 委	厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	伊藤 千裕	精神神経学	500	補 委	厚生労働省
CKDの早期発見、予防、治療標準化、進展阻止に関する調査研究	伊藤 貞嘉	腎高内	1,500	補 委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	伊藤 貞嘉	腎高内	450	補 委 厚生労働省
戦略研究(腎疾患重症化予防のための戦略研究)	伊藤 貞嘉	腎高内	400	補 委 厚生労働省
褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究	伊藤 貞嘉	腎高内	100	補 委 厚生労働省
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援の在り方に関する研究	伊藤 道哉	医療管理学	1,200	補 委 厚生労働省
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援の在り方に関する研究	青木 正志	神経内科	700	補 委 厚生労働省
高病原性の新型インフルエンザ発生に対する事前準備及び、緊急対応に関する研究	押谷 仁	微生物学	2,000	補 委 厚生労働省
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	押谷 仁	微生物学	600	補 委 厚生労働省
Wolfram症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究	片桐 秀樹	代謝疾患学分野	1,200	補 委 厚生労働省
妊産婦死亡及び乳幼児死亡の原因究明と予防策に関する研究	岡村 州博	周産期医学	1,000	補 委 厚生労働省
地域における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究	岡村 州博	周産期医学	5,000	補 委 厚生労働省
IgG4関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究	下瀬川 徹	消化器病態学	700	補 委 厚生労働省
わが国における飲酒の実態把握及びアルコールに関連する生活習慣病とその対策に関する総合的研究	下瀬川 徹	消化器病態学	900	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
新型インフルエンザ等の院内感染制御に関する研究	賀来 満夫	感染制御・検査診断学	5,000	補委 厚生労働省
肺胞蛋白症の難治か要因の解明と診断、治療、管理の標準化と指針の確立	海老名 雅仁	呼吸器病態学	500	補委 厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	海老名 雅仁	呼吸器病態学	1,000	補委 厚生労働省
特発性肺繊維症急性憎悪及び薬剤性肺障害に関与する日本人特異的遺伝素因に関する研究	海老名 雅仁	呼吸器病態学	250	補委 厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	海老名 雅仁	呼吸器病態学	800	補委 厚生労働省
生薬を用いた東アジア地区伝統医学と漢方医学の構成薬物及び配合比、表記法などに関する比較研究とデータベース作成	関 隆志	先進漢方治療医学(ソムラ)寄附講座	850	補委 厚生労働省
漢方の特性を利用したエビデンス創出と適正使用支援システムの構築	関 隆志	先進漢方治療医学(ソムラ)寄附講座	1,000	補委 厚生労働省
緩和ケアプログラムによる地域介入研究	宮下 光令	保・緩和ケア看護学	6,000	補委 厚生労働省
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	宮下 光令	保・緩和ケア看護学	2,400	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	荒井 陽一	泌尿器科	150	補委 厚生労働省
ゲノム解析による原発性アルドステロン症の原因診断学の再構築	笹野 公伸	病理診断学	2,000	補委 厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	笹野 公伸	病理診断学	1,400	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	山口 拓洋	医学統計学	1,000	補 委 厚生労働省
実現・持続可能性ある臨床研究フェローシップ構築研究	山口 拓洋	医学統計学	5,000	補 委 厚生労働省
がん性疼痛などの緩和のための病態生理に基づいた新たな治療法の開発	山口 拓洋	医学統計学	1,000	補 委 厚生労働省
がん医療に関するメディア報道が国民に与える影響の分析研究及び適正な医療報道のあり方の研究	山口 拓洋	医学統計学	400	補 委 厚生労働省
がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究	山口 拓洋	医学統計学	1,000	補 委 厚生労働省
がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究	宮下 光令	保・緩和ケア看護学	1,000	補 委 厚生労働省
自家培養口腔粘膜上皮シート移植による角膜上皮再生治療法の多施設共同臨床試験	山口 拓洋	医学統計学	4,300	補 委 厚生労働省
自家培養口腔粘膜上皮シート移植による角膜上皮再生治療法の多施設共同臨床試験	布施 昇男	眼科学	6,000	補 委 厚生労働省
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学(耳鼻咽)	600	補 委 厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	小澤 浩司	整形外科	500	補 委 厚生労働省
精神疾患患者に対する早期介入とその普及啓発に関する研究	松岡 洋夫	精神神経学	1,050	補 委 厚生労働省
小児先天性疾患および難治性疾患における臨床的遺伝子診断の基盤整備	松原 洋一	遺伝病学	2,500	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
アジア諸国における血漿分画製剤の製造体制の構築に関する研究(指定)	上原 鳴夫	国際保健学	3,700	補 委	厚生労働省
肝がんの新規治療法に関する研究	上野 義之	消化器病態学	2,000	補 委	厚生労働省
高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究	森 悦朗	高次機能障害学	1,600	補 委	厚生労働省
特発性正常圧水頭症の病因・病態と診断・治療に関する研究	森 悦朗	高次機能障害学	800	補 委	厚生労働省
かかりつけ医のための認知症の鑑別診断と疾患別治療に関する研究	森 悦朗	高次機能障害学	2,200	補 委	厚生労働省
新生児・乳児胆汁うっ滞症候群の総合的な診断・治療に関する研究	仁尾 正記	小児外科	800	補 委	厚生労働省
封入体筋炎(IBM)の臨床病理学的調査および診断基準の精度向上に関する研究	青木 正志	神経内科	10,000	補 委	厚生労働省
肝細胞増殖因子による筋萎縮性側索硬化症に対する新規治療法の開発	青木 正志	神経内科	423,077	補 委	厚生労働省
スモンに関する調査研究	青木 正志	神経内科	400	補 委	厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	青木 正志	神経内科	3,500	補 委	厚生労働省
神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新規医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型ロボットに関する治験準備研究	青木 正志	神経内科	400	補 委	厚生労働省
縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチーの治療効果最大化のための研究	青木 正志	神経内科	2,000	補 委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	青木 正志	神経内科	1,000	補委 厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	北本 哲之	病態神経学	4,000	補委 厚生労働省
遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究	青木 正志	神経内科	700	補委 厚生労働省
遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究	松原 洋一	遺伝病学	4,000	補委 厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	石垣 泰	分子代謝病態学	1,500	補委 厚生労働省
悪性リンパ腫に対する最適化されたモノクローナル抗体併用療法の開発による標準的治療法の確立	石澤 賢一	血液分子治療学寄附講座	1,000	補委 厚生労働省
高病原性鳥インフルエンザの診断・治療に関する国際連携研究	川上 和義	保・感染分子病態解析学	2,500	補委 厚生労働省
真菌感染症の病態解明に基づく検査・治療法の確立と国内診断・治療ネットワークの構築に関する研究	川上 和義	保・感染分子病態解析学	1,700	補委 厚生労働省
乱用薬物による薬物依存の発症メカニズム・予防・診断及び治療法についての研究	曾良 一郎	精神・神経生物学	1,650	補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	大浦 敏博	小児科	400	補委 厚生労働省
シトリン欠損症の実態調査と診断方法および治療法の開発	大浦 敏博	小児科	1,000	補委 厚生労働省
タンデムマス導入による新生児マススクリーニング体制の整備と質的向上に関する研究	大浦 敏博	小児科	500	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
タンデムマス導入による新生児マ スクリーニング体制の整備と質 的向上に関する研究	松原 洋一	遺伝病学	800	補 委 厚生労働省
てんかんの有病率等に関する疫 学研究及び診療実態の分析と治 療体制の整備に関する研究	中里 信和	てんかん学	500	補 委 厚生労働省
大規模コホート共同研究の発展 による危険因子管理の優先順位 の把握と個人リスク評価に関する エビデンスの構築	辻 一郎	公衆衛生学	1,800	補 委 厚生労働省
介護予防の効果検証のための研 究—長期コホート研究によるリス ク評価と介入研究による検証	辻 一郎	公衆衛生学	1,000	補 委 厚生労働省
生活習慣改善によるがん予防法 の開発に関する研究	辻 一郎	公衆衛生学	4,000	補 委 厚生労働省
認知症早期発見のためのツール 開発と認知機能低下抑制介入に 関する研究	辻 一郎	公衆衛生学	2,000	補 委 厚生労働省
健康寿命における将来予測と生 活習慣表対策の費用対効果に関 する研究	辻 一郎	公衆衛生学	700	補 委 厚生労働省
東日本大震災被災者の健康状態 等に関する調査	辻 一郎	公衆衛生学	100,000	補 委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研 究	藤原 一男	多発性硬化症治療学 寄附講座	1,500	補 委 厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感 染症に関する調査研究	堂浦 克美	神経化学	1,600	補 委 厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感 染症に関する調査研究	竹内 敦子	病態神経学	2,100	補 委 厚生労働省
食品を介する伝達性海綿状脳症 のリスクと対策等に関する研究	堂浦 克美	神経科学	2,000	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
食品を介する伝達性海綿状脳症のリスクと対策等に関する研究	北本 哲之	病態神経学	3,000	補 委 厚生労働省
ピロリ菌除菌による胃癌予防の経済評価に関する研究	濃沼 信夫	医療管理学	500	補 委 厚生労働省
骨粗鬆症の尿スクリーニング検査の費用対効果に関する研究	濃沼 信夫	医療管理学	700	補 委 厚生労働省
在宅がん患者・家族を支える医療・福祉の連携向上のためのシステム構築に関する研究	濃沼 信夫	医療管理学	800	補 委 厚生労働省
ミトコンドリア病の診断と治療に関する調査研究	萩野谷 和裕	小児科	500	補 委 厚生労働省
孔脳症の遺伝的要因の解明	萩野谷 和裕	小児科	1,500	補 委 厚生労働省
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)との公開の維持およびそのあり方に関する研究	八重樫 伸生	婦人科学	1,650	補 委 厚生労働省
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	八重樫 伸生	婦人科学	800	補 委 厚生労働省
放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究	富永 悌二	神経外科	150	補 委 厚生労働省
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	富永 悌二	神経外科	1,000	補 委 厚生労働省
偽落屑角膜内皮症の実態把握と診断基準確立のための研究	布施 昇男	眼科	750	補 委 厚生労働省
更年期障害に対する加味逍遙散のプラセボ対照二重盲検群間比較試験	武田 卓	先進漢方治療医学(ツムラ)寄附講座	500	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
ジストニアの診断及び治療方法の更なる推進に関する研究	武田 篤	神経内科	500	補委 厚生労働省
海外から輸入される多剤耐性結核に関する研究	服部 俊夫	感染症態学	700	補委 厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確率のための研究	保坂 正美	整形外科学	250	補委 厚生労働省
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	有馬 隆博	環境保健医学総合研究センター 情報遺伝学	2,000	補委 厚生労働省
わが国の生活習慣病における一次予防のための運動基準策定を目的とした大規模介入研究	下川 宏明	循環器内科	10,820	補委 厚生労働省
中核都市型医療圏における急性心筋梗塞診療救急体制の実態調査:宮城県心筋梗塞対策協議会ネットワークの活用	安田 聡	循環器内科	14,696	補委 厚生労働省
小児反復性中耳炎に対する十全大補湯の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学(耳鼻咽)	400	補委 厚生労働省
低侵襲性体外衝撃波治療法の実用化を目指したエビデンス確立のための拠点形成	下川 宏明	循環器内科	40,000	補委 厚生労働省
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	富永 悌二	神経外科	1,100	補委 厚生労働省
非もやもや病小児閉塞性脳血管障害の実態把握と治療指針に関する研究	富永 悌二	神経外科	1,000	補委 厚生労働省
低侵襲で多剤動態制御可能な薬物除放デバイスの開発と網膜疾患治療への応用	永井 展裕	細胞治療	5,000	補委 厚生労働省
ビオチン代謝異常症の鑑別診断法と治療方法の開発	坂本 修	小児病態学	1,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
次世代シークエンサーを用いた弧 初性の神経難病の発症機構の解 明に関する研究	青木 正志	神経内科学	7,000	補 委 厚生労働省
激甚災害時における死体検案体 制の整備および運用に関する研 究	舟山 真人	法医学	1,400	補 委 厚生労働省
東日本大震災被災地域における 感染症発生動向の実態把握及び 感染症危機管理対応の検証に関 する研究	賀来 満夫	感染制御・検査診断 学	4,500	補 委 厚生労働省
次世代シークエンサーを駆使した 希少遺伝性難病の原因解明と治 療法開発の研究	松原 洋一	遺伝病学	153,847	補 委 厚生労働省
ATLの診療実態・指針の分析によ る診療体制の整備	石澤 賢一	血液分子治療学寄附 講座	800	補 委 厚生労働省
HTLV-1関連脊髄症(HAM)の新 規医薬品開発に関する研究	藤原 一男	多発性硬化症治療学 寄附講座	1,000	補 委 厚生労働省
標準療法不応の肺がんの有効 な新規ペプチドワクチン療法の開 発と創薬展開	森 隆弘	東北がんプロフェッ ショナル養成講座	3,000	補 委 厚生労働省
東北地方のがんネットワークによ るがん診療連携拠点病院の化学 療法の均てん化事業	石岡 千加史	臨床腫瘍学分野(腫 瘍内科)	9,500	補 委 厚生労働省
漢方方剤「抑肝散」によるアルツ ハイマー病BPSD軽減効果の検 証	荒井 啓行	老年医学分野(老年 科)	12,818	補 委 厚生労働省
J-ADNIコアスタディ:画像・バイオ マーカーの解析・活用と臨床研究 体制の確立	荒井 啓行	老年医学分野(老年 科)	2,000	補 委 厚生労働省
高齢者に対する適切な医療提供 に関する研究	荒井 啓行	老年医学分野(老年 科)	500	補 委 厚生労働省
全ての臓器と組織移植症例の一 元的な登録と追跡制度の確立な らびにドナーとレシピエントの安全 性確保とQOL向上に関する研究	近藤 丘	呼吸器外科学分野 (呼吸器外科)	200	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
口腔保健とQOLの向上に関する総合的研究	小坂 健	国際歯科保健学分野	7,500,000	補委 厚生労働省
高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケアの指針の策定に関する研究	小関 健由	予防歯科学分野	400,000	補委 厚生労働省
歯科疾患予防のための日本人のフッ化物摂取基準とフッ化物応用プログラム	高橋 信博	口腔生理学分野	400,000	補委 厚生労働省
運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究	海老原 寛	内部障害リハ科	1,000	補委 厚生労働省
安全かつ効果的な抗HIV療法開発のための研究	児玉 栄一	感染症科	4,000	補委 厚生労働省
バイオマーカーに基づいた肺癌個別化治療における分子標的治療薬の至適治療法を検証するランダム化第Ⅲ相比較試験	井上 彰	呼吸器内科	17,623	補委 厚生労働省
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	笹原 洋二	小児科	1,500	補委 厚生労働省
新型薬剤耐性菌等に関する研究	長沢 光章	検査部	2,500	補委 厚生労働省
極細径光ファイバ圧力センサ	芳賀 洋一	医工学研究科	45,400	補委 厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	佐藤 文俊	腎・高血圧・内分泌科	1,000	補委 厚生労働省
地域における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究	菅原 準一	産科	500	補委 厚生労働省
乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験	大内 憲明	乳腺・内分泌外科	130,770	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
食中毒調査の精度向上のための手法等に関する調査研究	徳田 浩一	検査部	600	補委 厚生労働省
びまん性絨毛羊膜へモジデロシスの病理診断システムの確立と新生児慢性肺疾患発症リスク因子の解析に関する研究	渡辺 達也	小児科	5,000	補委 厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	工藤 幸司	TRセンター	1,500	補委 厚生労働省
中枢性摂食異常症に関する調査研究	遠藤 由香	心療内科	200	補委 厚生労働省
ソトス症候群のスクリーニング・診断システムの開発と実用化	福與 なおみ	小児科	1,000	補委 厚生労働省
地域医療に貢献する医師養成のためのバーチャルスライドを利用した学習ツールの開発	渡辺 みか	病理部	150	補委 厚生労働省
小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究	笹原 洋二	小児科	600	補委 厚生労働省
慢性特発性偽性腸閉塞症の我が国における疫学・診断・治療の実態調査研究	本郷 道夫	総合診療部	500	補委 厚生労働省
慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究	宮崎 真理子	血液浄化療法部	100	補委 厚生労働省
特発性肺線維症急性増悪及び薬剤性肺障害に関与する日本人特異的遺伝素因に関する研究	沖永 壯治	老年科	2,000	補委 厚生労働省
脳移植動物における機能的ワイヤによる神経機能回復の評価	上月 正博	内部障害リハ科	5,220	補委 独立行政法人科学技術振興機構
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／橋渡し促進技術開発／細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	布施昇男	眼科	3,875	補委 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
がん超早期診断・治療機器の総合研究開発／超早期高精度診断システムの研究開発：病理画像等認識技術の研究開発／病理画像等認識基礎技術の研究開発(1粒子蛍光ナノイメージングによる超高精度がん組織診断技術)	大内 憲明	乳腺・内分泌外科	43,596	補 委 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
JABTS乳房超音波診断フローチャートの有用性に関する多施設共同研究(JABTS BC-01)	里見 進	TRセンター	2,500	補 委 特定非営利活動法人日本乳腺甲状腺超音波診断会議
宮城さい帯血バンクによるさい帯血移植適応及び治療成績評価に関する研究	峯岸 正好	輸血部	300	補 委 特定非営利活動法人宮城さい帯血バンク
不妊に関する専門的な相談と、生殖補助医療技術による妊孕性	寺田 幸弘	周産母子センター	1,416	補 委 宮城県知事
21委-1総合失調症の診断、治療法の開発に関する研究	松岡 洋夫	精神科	2,000	補 委 国立精神・神経センター
21委-3精神・神経疾患のiPS細胞を用いた診断・治療法の開発に関する戦略的研究	青木 正志	神経内科	1,100	補 委 国立精神・神経センター
23-5 筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究	青木 正志	神経内科	1,800	補 委 国立精神・神経センター
23指-1 成育稀少疾患の症例登録と長期予後追跡	松原 洋一	遺伝科	5,000	補 委 国立成育医療センター
(22-2) 高齢者の口腔機能の評価法及び維持・向上法に関する研究	海老原 覚	内部障害リハ科	900	補 委 独立行政法人国立長寿医療研究センター
11 先天奇形症候群に合併する腫瘍の発生メカニズムの解明	青木 洋子	遺伝科	1,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
最大限の病変摘出と機能温存を両立するパルスジェットメスの開発	富永 悌二	脳神経外科	18,097	補 委 財団法人青葉工学会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
23-A-17・高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫 伸夫	婦人科	1,100	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
免疫毒性試験法のバリデーションに関する研究	相場 節也	皮膚科	2,205	補 委 財団法人食品薬品安全センター
シトリン欠損症治療へのピルビン酸ナトリウムの応用	大浦 敏博	小児科	463	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討免疫組織的検討	渡辺 みか	病理部	6,670	補 委 国家公務員共済組合連合会 東北公済病院
研究用臍帯血幹細胞バンク整備(宮城さい帯血バンクと連携した移植適応外臍帯血の収集及び細胞分離調製・保存等)	張替 秀朗	血液・免疫科	3,412	補 委 文部科学省研究振興局
酸化ストレス制御による新しい心血管病治療法	佐藤 公雄	循環器内科	5,200	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
膵島機能を評価するための超音波検査法の開発	坂田 直昭	肝・胆・膵外科	5,850	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
消化器用レーザーラマン分光診断・治療支援システムの実用化	下瀬川 徹	消化器内科	1,300	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
国産技術に基づく世界初の衝撃波アブレーション不整脈治療システムの開発	下川 宏明	循環器内科	24,999	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
「チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究」(EGFR遺伝子変異陽性肺がんの遺伝学的発がん機構の解明)	菊地 利明	呼吸器内科	4,000	補 委 文部科学省研究振興局
人工股関節用次世代チタン合金システムの開発	井樋 栄二	整形外科	1,683	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
非結核性抗酸菌症の臨床検査を目指した病型判定法の最適化	菊地 利明	呼吸器内科	1,700	補 委 独立行政法人科学技術振興機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
ELIDファブリケーションの強靱な非晶質酸化層による「高耐久・顎骨再生インプラント」創製	石幡 浩志	歯内歯周科	1,950	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
高力価ヒトIgG抗ヒトTACE抗体作製とそれによる骨破壊性疾患の阻止	菅崎 弘幸	矯正歯科	1,700	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
生体組織内一分子イメージング用量子ドットツールの開発	鈴木 康弘	感染症科	1,170	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
カテーテル型パルスウオータージェットメスによる新しい食道癌内視鏡的治療技術の開発ー全身麻酔下豚を用いた性能の検討ー	宮田 剛	移植・再建・内視鏡外科	1,224	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
脳神経外科学分野に関する学術動向の調査研究	富永 悌三	脳神経外科	1,870	補 委 独立行政法人日本学術振興会
眼鏡枠微細加工技術を用いた医療デバイスおよび細線加工装置の開発	山内 清	TRセンター	659	補 委 財団法人ふくい産業支援センター
特異的プローブによるタウおよびAβ蓄積メカニズムの解明	工藤 幸司	TRセンター	18,000	補 委 文部科学省研究振興局
T-CORE管理解析委託	里見 進	TRセンター	2,800	補 委 特定非営利活動法人東北臨床腫瘍研究会

計 773

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biol Blood Marrow Transplant	Favorable outcome of unrelated cord blood transplantation for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	大西 康	血液・免疫病学分野
Jpn J Antibiot	[Antimicrobial susceptibility of clinical isolates of aerobic gram-positive cocci and anaerobic bacteria in 2008].	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Jpn J Antibiot	[Antimicrobial susceptibility of clinical isolates of aerobic gram-negative bacteria in 2008].	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Jpn J Antibiot	[Nationwide surveillance of parenteral antibiotics containing meropenem activities against clinically isolated strains in 2009].	北川 美穂	感染制御・検査診断学分野
化学療法の領域	【病院感染対策の実際】病院感染対策における地域ネットワークの重要性	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	2011年東日本大震災直後の東北大学病院における感染症症例の解析	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Vaccine	A possible relationship of natural killer T cells with humoral immune response to 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccine in clinical settings.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	AIDとMyD88に依存した、腹腔内B-1a細胞移入による急性肺炎の改善効果	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Diagn Microbiol Infect Dis	Antimicrobial susceptibility and molecular characteristics of 857 methicillin-resistant Staphylococcus aureus isolates from 16 medical centers in Japan (2008-2009) Nationwide survey of community-acquired and nosocomial MRSA.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	A群溶血性連鎖球菌における病原因子の遺伝子解析	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
J Infect Chemother	Bactericidal effects of antimicrobial agents on epithelial cell-associated Pseudomonas aeruginosa.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
J Clin Microbiol	Chest wall abscess due to Mycobacterium bovis BCG after intravesical BCG therapy.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Yakugaku Zasshi	Expect for the pharmacist in the management of infectious diseases.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
J Antimicrob Chemother	High prevalence of extended-spectrum beta-lactamases and qnr determinants in Citrobacter species from Japan: dissemination of CTX-M-2.	矢野 寿一	感染制御・検査診断学分野
Infect Control Hosp Epidemiol	Infection control campaign at evacuation centers in Miyagi prefecture after the Great East Japan Earthquake.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Infect Control Hosp Epidemiol	Latent Tuberculosis Infection in Nurses Exposed to Tuberculous Patients Cared for in Rooms without Negative Pressure after the 2011 Great East Japan Earthquake.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
The Japanese Journal of Antibiotics	Meropenemを含む各種注射用抗菌薬に対する2009年臨床分離株の感受性サーベイランス	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本呼吸器学会誌	miR-200/miR-21は肺胞上皮細胞のEMTを制御する	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Acta Trop	Molecular characteristics of extended-spectrum beta-lactamases in clinical isolates of Enterobacteriaceae from the Philippines.	矢野 寿一	感染制御・検査診断学分野
J Antimicrob Chemother	Molecular epidemiology of carbapenem-non-susceptible Acinetobacter baumannii in Japan.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Clin Infect Dis	Post-Tsunami Outbreaks of Influenza in Evacuation Centers in Miyagi Prefecture, Japan.	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Eur J Clin Microbiol Infect Dis	Precipitating factors in the pathogenesis of peritonsillar abscess and bacteriological significance of the Streptococcus milleri group.	矢野 寿一	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	マクロライド耐性A群溶血性連鎖球菌における耐性関連遺伝子と表現型の検討	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
The Japanese Journal of Antibiotics	各種抗菌薬に対する2008年臨床分離好気性グラム陰性菌の感受性サーベイランス	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
The Japanese Journal of Antibiotics	各種抗菌薬に対する2008年臨床分離好気性グラム陽性球菌および嫌気性菌の感受性サーベイランス	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
薬学雑誌	感染症治療において薬剤師に期待するもの	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	感染対策マネジメント向上を目的としたICTラウンド評価	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	感染対策地域支援ネットワーク 感染制御地域支援ネットワーク 実際の活動報告とその効果	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	吸引処置時における標準予防策の遵守率調査	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
臨床病理	血液疾患への統合的アプローチ 診療科と検査部門の連携 東日本大震災を経験した血液検査室の現場から	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	血流感染時に宿主保護に関わるIL-13の役割	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	呼吸器感染症に対するlevofloxacin注射剤の臨床試験(第II/III相試験)	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
医療と検査機器・試薬	抗酸菌検出におけるTRC法の有用性の検討	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	国内で分離されたCitrobacter属の基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ(ESBL)に関する分子疫学的研究	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	国内におけるAcinetobacter spp.の疫学的解析	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	産・官・学・メディア連携による感染症情報ネットワークの構築 感染予防啓発活動の実践および今後のさらなる取り組み	北川 美穂	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	市中肺炎におけるlevofloxacin注射剤のceftriaxone sodiumを対照とした第III相比較試験	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
NEUROINFECTION	震災と感染症 東日本大震災と感染症 その概要と問題点	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本環境感染学会誌	震災時における感染対策に関する検討	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	増悪する腰痛と低酸素血症を認めた症例	北川 美穂	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	速乾性手指消毒剤使用量から見る手指衛生の遵守率とICNの関わり	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本臨床微生物学雑誌	地震・津波・原発災害・復興への道 災害時の感染症対策と支援 東日本大震災を経験して	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	中耳放線菌症の1例	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	長野県諏訪地域における外来抗菌薬の使用状況と季節変動の検討	北川 美穂	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	東日本で分離された基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生大腸菌に関する検討	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	東日本大震災での避難所における衛生状態及び感染症リスク要因の検討	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	東日本大震災後に宮城県名取市館腰小学校の避難所において発生したA型インフルエンザアウトブレイク事例への対応支援	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	東日本大震災後の沿岸部および内陸部の避難所における感染対策活動	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
結核	東日本大震災後の活動性結核の患者背景と臨床的検討	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	東日本大震災後の避難所において発生したA型インフルエンザアウトブレイク事例	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	東北大学病院において血液培養から分離されたAcinetobacter spp.の分離頻度	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本環境感染学会誌	当院における感染対策に関わる地域連携活動について	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	当大学病院が直面した大震災の影響と今後の課題	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本環境感染学会誌	病院における感染経路別予防策のかかわる個室整備について	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本臨床微生物学雑誌	緑膿菌におけるAAC(6')-Iae産生株の検出状況	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Ann Nucl Med	A modified method of 3D-SSP analysis for amyloid PET imaging using [(11)C]BF-227.	高橋 昭喜	量子診断学分野
Ann Nucl Med	Additional value of FDG PET/CT to contrast-enhanced CT in the differentiation between benign and malignant intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas with mural nodules.	高橋 昭喜	量子診断学分野
Abdom Imaging	Intraductal papillary mucinous neoplasm of the bile ducts: multimodality assessment with pathologic correlation.	高橋 昭喜	量子診断学分野
Ann Nucl Med	Positive correlations between tumor uptake on FDG PET and energy expenditure of patients with esophageal cancer.	高橋 昭喜	量子診断学分野
Neurosurgery.	Significance of focal cerebral hyperperfusion as a cause of transient neurologic deterioration after extracranial-intracranial bypass for moyamoya disease: comparative study with non-moyamoya patients using N-isopropyl-p-[(123)I]iodoamphetamine single-photon emission	表倉 俊司	量子診断学分野
Pancreatology	Biomarkers of pancreatic cancer.	下瀬川 徹	消化器病態学分野
Pancreas	Long-period pancreatic stenting for painful chronic calcified pancreatitis required higher medical costs and frequent hospitalizations compared with surgery.	下瀬川 徹	消化器病態学分野
Pancreas	Perfusion Computed Tomography Findings of Autoimmune Pancreatitis.	下瀬川 徹	消化器病態学分野
Hepatol Res	Rapid reduction of hepatitis C virus-Core protein in the peripheral blood improve the immunological response in chronic hepatitis C patients.	近藤 泰輝	消化器病態学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床栄養	【病院・施設・在宅を結ぶ高齢者の栄養ケア】(Part 4)高齢者栄養ケアの実際 胃瘻の功罪	小坂 陽一	老年科
核医学	3D-SSP変法によるBF-227を用いたアミロイドPET解析	古川 勝敏	老年科
Neurobiol Aging	A unique N-glycan on human transferrin in CSF: a possible biomarker for iNPH.	古川 勝敏	老年科
Circulation	Cardiac positron-emission tomography images with an amyloid-specific tracer in familial transthyretin-related systemic amyloidosis.	古川 勝敏	老年科
No To Hattatsu	[Clinical features of Japanese pediatric patients with anti-aquaporin 4 antibody].	福與 なおみ	小児病態学分野
J Bone Miner Metab	Cross-sectional study of bone metabolism with nutrition in adult classical phenylketonuric patients diagnosed by neonatal screening.	坂本 修	小児病態学分野
Mol Genet Metab	Experimental evidence that phenylalanine is strongly associated to oxidative stress in adolescents and adults with phenylketonuria.	坂本 修	小児病態学分野
Clin Exp Nephrol	Fanconi-Bickel syndrome in a 3-year-old Indian boy with a novel mutation in the GLUT2 gene.	坂本 修	小児病態学分野
Indian J Pediatr	Fanconi-bickel syndrome.	坂本 修	小児病態学分野
Pediatr Int	Neonatal lactic acidosis with methylmalonic aciduria due to novel mutations in the SUCLG1 gene.	坂本 修	小児病態学分野
Osaka City Med J	Spectrum of glutamate dehydrogenase mutations in Japanese patients with congenital hyperinsulinism and hyperammonemia syndrome.	坂本 修	小児病態学分野
Circ J	Extracorporeal Shock Wave Therapy Improves the Walking Ability of Patients With Peripheral Artery Disease and Intermittent Claudication.	佐藤 成	先進外科学分野
Cancer Sci	Multidetector row helical computed tomography for invasive ductal carcinoma of breast: The correlation between radiological findings and the corresponding biological characteristic of the patients.	石田 孝宣	腫瘍外科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Controlled release	A Method for Enhancing the Ocular Penetration of Eye Drops Using Nanoparticles of Hydrolysable Dye	田中 佑治	眼科学分野
Tissue Engineering Part A	A novel gelatin hydrogel carrier sheet for corneal endothelial transplantation.	田中 佑治	眼科学分野
J Biomater Sci Polym Ed.	Anisotropic mechanical properties in collagen hydrogels induced by uniaxial-flow for ocular applications	田中 佑治	眼科学分野
Ophthalmologica	Difficulty in Inserting 25- and 23-Gauge Trocar Cannula during Vitrectomy.	國方 彦志	眼科学分野
Ophthalmic Surg Lasers Imaging	Fixating dislocated intraocular lens by 25-gauge vitrectomy.	國方 彦志	眼科学分野
Biomaterials	Irreversible Optical Clearing of Rabbit Dermis for Autogenic Corneal Stroma Transplantation Abbreviated title: Irreversible Optical Clearing of Autogenic Dermis	田中 佑治	眼科学分野
Biomaterials	Irreversible optical clearing of rabbit dermis for autogenic corneal stroma transplantation.	布施 昇男	眼科学分野
Biomaterials	Irreversible Optical Clearing of Sclera by Dehydration and Cross-linking.	田中 佑治	眼科学分野
World glaucoma Congress	NTGにおける神経保護治療戦略-神経保護には軸索保護・血管保護・グリア保護の3つの視点が重要-	中澤 徹	眼科学分野
Advanced Materials	Physical and Specific Crosslinking of Collagen Fibers by Supramolecular Nano-gelators	田中 佑治	眼科学分野
Clin Ophthalmol	Preoperative factors predictive of postoperative decimal visual acuity ≥ 1.0 following surgical treatment for idiopathic epiretinal membrane.	國方 彦志	眼科学分野
Ophthalmic Surg Lasers Imaging	Successful Outcomes of 25- and 23-Gauge Vitrectomies for Giant Retinal Tear Detachments.	國方 彦志	眼科学分野
J Ophthalmol	Successful removal of large intraocular foreign body by 25-gauge microincision vitrectomy surgery.	國方 彦志	眼科学分野

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Biomaterials	Transparent, Tough Collagen Laminates Prepared by Oriented Flow Casting, Multi-Cyclic Vitrification and Chemical Cross-linking	田中 佑治	眼科学分野
Medical View Point	あたらしい眼血流評価とその意義	中澤 徹	眼科学分野
Ophthalmic Foresight	神経保護治療の可能性	中澤 徹	眼科学分野
日本の眼科 82:3号 2011	総合的緑内障研究の必要性	中澤 徹	眼科学分野
臨床眼科	網膜中心静脈閉塞症	中澤 徹	眼科学分野
Auris Nasus Larynx	An analysis of clinical risk factors of deep neck infection.	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
J Microbiol Methods	Binax NOW® Streptococcus pneumoniae test of middle ear fluid for detecting causative pathogens in children with acute otitis media. 2011;84(2):341-2.	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Tohoku J Exp Med	Distinct features of second primary malignancies in head and neck cancer patients in Japan. 2011;225(1):5-12.	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Eur Arch Otorhinolaryngol	Effects of neck muscle vibration on subjective visual vertical: comparative analysis with effects on nystagmus.	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Auris Nasus Larynx.	Glomangiopericytoma of the nasal cavity	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Radiother Oncol	Multicenter phase II study of an opioid-based pain control program for head and neck cancer patients receiving chemoradiotherapy.	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Acta Otolaryngol	Outcomes of surgically treated rhinogenic optic neuropathy. 2011;131(8):833-9.	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Acta Otolaryngol	Preventative effect of various fluids used in the epitympanic bulla on deterioration of cochlear function during labyrinthectomy.	大島 猛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Tohoku J Exp Med	Surgical treatment is recommended for advanced oral squamous cell carcinoma.	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
頭頸部癌	化学放射線療法を行う頭頸部がん患者を対象とするクリニカルパスを用いた疼痛管理法有効性/安全性評価試験	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
日本耳鼻咽喉科学会誌	先天性外耳道閉鎖症例における埋め込み型骨導補聴器(Bone-Anchored Hearing Aid:BAHA)の有効性に関する検討.	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
喉頭	当科における喉頭全摘術後の合併症の検討	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頭頸部癌治療におけるエコーガイド下上腕末梢穿刺中心静脈カテーテルの有用性	加藤 健吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
頭頸部外科	乳突削除ー顔面神経高位切断方を用いた拡大耳下腺全摘術の検討	小林 俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Int J Clin Oncol	Cigarette smoke stimulates VEGF-C expression in cervical intraepithelial neoplasia (CIN) 1 and 2 lesions.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Gynecol Oncol	Curcumin disrupts uterine leiomyosarcoma cells through AKT-mTOR pathway inhibition.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Tohoku J Exp Med	Identifying prognostic factors in Japanese women with pseudomyxoma peritonei: a retrospective clinico-pathological study of the Tohoku Gynecologic Cancer Unit.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Tohoku J Exp Med	Maternal undernutrition with vaginal inflammation impairs the neonatal oligodendrogenesis in mice.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Am J Obstet Gynecol	Maternal-amniotic-fetal distribution of macrolide antibiotics following intravenous, intramuscular, and intraamniotic administration in late pregnant sheep.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Int J Clin Oncol	Perceptions and attitudes of Japanese gynecologic cancer patients to Kampo (Japanese herbal) medicines.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Int J Clin Oncol	Questionnaire survey of the current status of radical trachelectomy in Japan.	八重樫 伸生	婦人科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hum Mol Genet	Re-investigation and RNA sequencing-based identification of genes with placenta-specific imprinted expression.	八重樫 伸生	婦人科学分野
J Obstet Gynaecol Res	Risk factors for recurrence and re-recurrence of ovarian endometriomas after laparoscopic excision.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Evid Based Complement Alternat Med	Short-term effects of acupuncture on open-angle glaucoma in retrobulbar circulation: additional therapy to standard medication.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Int J Clin Oncol	Subsequent risks for cervical precancer and cancer in women with low-grade squamous intraepithelial lesions unconfirmed by colposcopy-directed biopsy: results from a multicenter, prospective, cohort study.	八重樫 伸生	婦人科学分野
Neuroscience	Yokukansan, a traditional Japanese medicine, ameliorates memory disturbance and abnormal social interaction with anti-aggregation effect of cerebral amyloid beta proteins in amyloid precursor protein transgenic mice.	八重樫 伸生	婦人科学分野
日本東洋医学雑誌	東日本大震災における東洋医学による医療活動	八重樫 伸生	婦人科学分野
日本生殖医学会雑誌	クラミジア感染を伴う卵管性不妊に対する腹腔鏡併用卵管鏡下卵管形成術の有用性	鍋島 寛志	婦人科学分野
Anaesth Intensive Care	Comparison of actual tidal volume in neonatal lung model volume control ventilation using three ventilators.	外山 裕章	麻酔科学・周術期医学分野
Nephron Extra	Compensatory Thrombopoietin Production from the Liver and Bone Marrow Stimulates Thrombopoiesis of Living Rat Megakaryocytes in Chronic Renal Failure	黒澤 伸	麻酔科学・周術期医学分野
Respirology	Impaired endothelial progenitor cell mobilization and colony-forming capacity in chronic obstructive pulmonary disease	黒澤 伸	麻酔科学・周術期医学分野
日本臨床麻酔学会誌	脊髄くも膜下麻酔による脊髄栄養血管損傷—大根動脈損傷による対麻痺発生の危険性—	黒澤 伸	麻酔科学・周術期医学分野
麻酔	麻酔中の1回換気量の違いが機能的残気量に及ぼす影響	黒澤 伸	麻酔科学・周術期医学分野
Transplant Proceedings	Perfusion using oxygenated buffer containing prostaglandin E1 before cold preservation prevents warm ischemia-reperfusion injury in liver grafts from non-heart-beating donors.	赤松 順寛	救急医学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Neurochir (Wien)	Pulsed laser-induced liquid jet for skull base tumor removal with vascular preservation through the transsphenoidal approach: a clinical investigation.	中川 敦寛	救急医学分野
東北医学会雑誌	平成22年度日本生体医工学学会萩野賞受賞報告 細血管温存下に組織切開・切開可能な内視鏡デバイス: レーザージェットメスの開発.	中川 敦寛	救急医学分野
Mult Scler Int	Neurodegeneration in MS and NMO: The Eye and the Blood.	中島 一郎	神経内科学分野
Neurology	Pain in neuromyelitis optica and its effect on quality of life: a cross-sectional study.	中島 一郎	神経内科学分野
Clin Neurophysiol	Auditory evoked magnetic fields in patients with absent brainstem responses due to auditory neuropathy with optic atrophy.	中里 信和	てんかん学分野
Neuroimage	Contralateral white noise attenuates 40-Hz auditory steady-state fields but not N100m in auditory evoked fields.	中里 信和	てんかん学分野
Clin Neurophysiol	Lateralization of interictal spikes after corpus callosotomy.	中里 信和	てんかん学分野
J Thorac Oncol	Low-dose gefitinib treatment for patients with advanced non-small cell lung cancer harboring sensitive epidermal growth factor receptor mutations.	井上 彰	呼吸器内科学分野
Sci Transl Med	Optimization of dosing for EGFR-mutant non-small cell lung cancer with evolutionary cancer modeling.	井上 彰	呼吸器内科学分野
Am J Respir Cell Mol Biol	A Novel Method for Isolating Individual Cellular Components from the Adult Human Distal Lung.	山田 充啓	感染症診療地域連携寄附講座
Am J Respir Crit Care Med	Interferon- γ Production by Neutrophils during Bacterial Pneumonia in Mice.	山田 充啓	感染症診療地域連携寄附講座
Emerg Infect Dis	Pandemic (H1N1) 2009 transmission during presymptomatic phase, Japan.	具 芳明	感染症診療地域連携寄附講座
Cell Mol Immunol	The increase in surface CXCR4 expression on lung extravascular neutrophils and its effects on neutrophils during endotoxin-induced lung injury.	山田 充啓	感染症診療地域連携寄附講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
感染症学雑誌	長野県諏訪地域における外来抗菌薬使用量と薬剤耐性菌の検出頻度についての検討	具 芳明	感染症診療地域連携寄附講座
Pharmacopsychiatry	Ketamine-induced disruption of verbal self-monitoring linked to superior temporal activation	松本 和紀	予防精神医学寄附講座
J Thorac Cardiovasc Surg	Is there a benefit of awake thoracoscopic surgery in patients with secondary spontaneous pneumothorax?	野田 雅史	呼吸器外科学分野
漢方医学	【RCT時代の漢方薬】(Part.II)これまでの研究と今後の展望 抑肝散:進行中の臨床試験 アルツハイマー病のBPSDに対する抑肝散の軽減効果に関する多施設共同ランダム化二重盲検比較試験	荒井 啓行	老年医学分野
臨床と研究	【進歩した認知症の診療】認知症診断のバイオマーカー	荒井 啓行	老年医学分野
Mebio	【知っておきたい認知症の基礎知識】認知症のPET・アミロイドイメージング	荒井 啓行	老年医学分野
Aging & Health	【認知症ケアの取り組み-エビデンスの追求-】認知症の早期発見法 外来で役立つ問診技術と最新の検査法	荒井 啓行	老年医学分野
Psychogeriatrics	A comprehensive strategy for dementia from primary prevention to end-stage management.	荒井 啓行	老年医学分野
Am J Respir Cell Mol Biol	Adiponectin Pathway Attenuates Malignant Mesothelioma Cell Growth.	荒井 啓行	老年医学分野
Cough	Aging deteriorated perception of urge-to-cough without changing cough reflex threshold to citric acid in female never-smokers.	荒井 啓行	老年医学分野
日本老年医学会雑誌	マウスケアタイプのカプサイシンシート(カプサイシンプラス-三和化学研究所社製)の咳反射改善効果	富田 尚希	老年医学分野
脂質生化学研究	認知症者における過酸化脂質蓄積赤血球の出現とその生成機構	荒井 啓行	老年医学分野
Geriatric Medicine	認知症包括的医療の課題 発症前診断から終末期まで	荒井 啓行	老年医学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Prosthodontics	The Potential of Cohesive Silicone for Facial Prosthetic Use: A Material Property Study and a Clinical Report	塙 総司	口腔システム補綴学分野
顎機能誌	ブレードティースを付与した全部床義歯装着者の咀嚼能力に関する臨床研究	依田 信裕	口腔システム補綴学分野
日補綴会誌	メンテナンスケアが可撤性部分床義歯装着患者の残存歯周組織の状態におよぼす影響	依田 信裕	口腔システム補綴学分野
日本補綴歯科学会誌	地域高齢者の20歯以上保有と軽度認知機能障害の関連 1年の前向きコホート研究	大井 孝	加齢歯科学分野
American Journal of Dentistry	Comparative evaluation of mechanical characteristics of nanofiller containing resin composites	遠藤 達雄	歯科保存学分野
Journal of Applied Oral Science	In vitro dentin permeability after application of Gluma® desensitizer as aqueous solution or aqueous fumed silica dispersion	兼平 正史	歯科保存学分野
Expert Opin Ther Targets	Cytoplasmic estrogen receptor beta as a potential marker in human non-small cell lung carcinoma.	三木 康宏	口腔病理学分野
Cancer Sci	Nucleobindin 2 in human breast carcinoma as a potent prognostic factor.	三木 康宏	口腔病理学分野
Int J Cancer	Nudix-type motif 2 in human breast carcinoma: a potent prognostic factor associated with cell proliferation.	三木 康宏	口腔病理学分野
Mol Cell Endocrinol	Synergistic anti-tumor effects of RAD001 with MEK inhibitors in neuroendocrine tumors: a potential mechanism of therapeutic limitation of mTOR inhibitor.	三木 康宏	口腔病理学分野
Mol Cell Endocrinol	The role of estrogen-metabolizing enzymes and estrogen receptors in human epidermis.	三木 康宏	口腔病理学分野
Oral Radiology	Difficulty of the differential diagnosis of basal cell adenoma and basal cell adenocarcinoma of parotid gland by magnetic resonance imaging: case reports and literature review	小嶋 郁穂	口腔診断学分野
日本口腔診断学会雑誌	歯科受診患者の主訴に関する診断学的研究 過去30年間の主訴の変遷と社会的背景について	小嶋 郁穂	口腔診断学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology and Endodontology	Comparison of bone regeneration between octacalcium phosphate (OCP)/collagen composite and β -tricalcium phosphate (β -TCP) in canine calvarial defect.	松井 桂子	口腔外科学分野
Cell Death Dis	Enhancement of autophagy is a potential modality for tumors refractory to radiotherapy.	森 士朗	口腔外科学分野
Cancer Sci	Evaluation of antitumor effects following tumor necrosis factor- α gene delivery using nanobubbles and ultrasound.	森 士朗	口腔外科学分野
Clinical Implant Dentistry and Related Research	Reconstruction of critical-sized bone defect in dog skull by octacalcium phosphate combined with collagen	松井 桂子	口腔外科学分野
Cancer Res	Volumetric and angiogenic evaluation of antitumor effects with acoustic liposome and high-frequency ultrasound.	森 士朗	口腔外科学分野
Dent J Health	Anterior hypothalamic inhibition of reflex parasympathetic vasodilatation in the lower lip and palate of anaesthetized cats	水田 健太郎	歯科口腔麻酔学分野
American Journal of Physiology Lung Cellular and Molecular Physiology	Dopamine D2 receptor is expressed and sensitizes adenylyl cyclase activity in airway smooth muscle	水田 健太郎	歯科口腔麻酔学分野
American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology	Gi-coupled γ -aminobutyric acid-B receptors cross-regulate phospholipase C and calcium in airway smooth muscle	水田 健太郎	歯科口腔麻酔学分野
Brain Research	Role of medullary GABA signal transduction on parasympathetic reflex vasodilatation in the lower lip	水田 健太郎	歯科口腔麻酔学分野
Journal of Nutrition & Food Sciences	Incidence of Taste Disorder and Umami Taste Disorder among the Japanese Elderly and Youth	笹野 高嗣	口腔診断学分野
Microbiol Immunol	Detection and identification of non-Candida albicans species in human oral lichen planus.	笹野 高嗣	口腔診断学分野
日本味と匂学会誌	「うま味」検査法の開発	笹野 高嗣	口腔診断学分野
日本口腔診断学雑誌	高齢者におけるうま味障害と食欲不振・体重減少について	笹野 高嗣	口腔診断学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biol.pham.bull	Application of umami taste stimulation to remedy for hypogeusia based on reflex salivation	笹野 高嗣	口腔診断学分野
日本味と匂学会誌	味覚障害・高齢者における“うま味感受性”	佐藤 しづ子	口腔診断学分野
Am J Pathol	Heat Shock Protein 70 is critical for the photoreceptor stress response after retinal detachment via modulating anti-apoptotic Akt kinase.	中澤 徹	眼科学分野
J Control Release	Suppression of phagocytic cells in retinal disorders using amphiphilic poly(γ -glutamic acid) nanoparticles containing dexamethasone.	中澤 徹	眼科学分野
Invest Ophthalmol Vis Sci	Tumor Necrosis Factor- α Mediates Photoreceptor Death in a Rodent Model of Retinal Detachment.	中澤 徹	眼科学分野
J Neurosci Res doi	The critical role of calpain in axonal damage-induced retinal ganglion cell death.	中澤 徹	眼科学分野
J Glaucoma	Effect of topical tafluprost on optic nerve head blood flow in patients with myopic disc type.	中澤 徹	眼科学分野
Additional therapy to standard medication, Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine.	Short-term effects of acupuncture on open-angle glaucoma in retrobulbar circulation	中澤 徹	眼科学分野
a Comparative, Multicenter, Retrospective, Cohort Study. Am J Ophthalmol.	Success Rates of Trabeculotomy for Steroid-Induced Glaucoma	中澤 徹	眼科学分野
J Ophthalmology	Successful Removal of Large Intraocular Foreign Body by 25-Gauge. Microincision Vitrectomy Surgery	中澤 徹	眼科学分野
Clin Ophthalmol	Reproducibility of ocular circulation measurements obtained using Laser Speckle Flowgraphy-NAVI in patients with glaucoma	中澤 徹	眼科学分野
Am J Ophthalmol	Pre-seasonal treatment with topical olopatadine suppresses the clinical symptoms of seasonal allergic conjunctivitis	中澤 徹	眼科学分野
Clin Ophthalmol	Association between optic nerve blood flow and objective examinations in glaucoma patients with generalized enlargement disc type	中澤 徹	眼科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Ophthalmol	Significant Correlations between Optic Nerve Head Microcirculation and Visual Field Defects and Nerve Fiber Layer Loss in Glaucoma Patients with Myopic Glaucomatous Disc	中澤 徹	眼科学分野
Am J Ophthalmol	Miami to Japan Eye-Care Rescue Mission: Vision Van Helps with Relief Efforts	中澤 徹	眼科学分野
Clin Ophthalmol	Over 10 years follow-up of Coats' disease in adulthood	中澤 徹	眼科学分野
J Glaucoma	Progression of visual field defects in eyes with different optic disc appearances in patients with normal tension glaucoma	中澤 徹	眼科学分野
中山書店,東京	疾患モデルマウス表現型解析指南 脳・神経系(感覚器)視覚(緑内障)	中澤 徹	眼科学分野
BDNF 臨床眼科	連載:眼科医にもわかる生理活性物質と眼疾患の基本	中澤 徹	眼科学分野
緑内障の神経保護治療 臨床眼科	基礎研究から難治眼疾患のブレークスルーをねらえ	中澤 徹	眼科学分野
移植	生体小腸移植後に慢性拒絶反応によるグラフト機能廃絶を来した1例	和田 基	小児外科
Transplantation proceedings	Current status of intestinal transplantation in Japan.	仁尾 正記	小児外科
Int J Gynecol Cancer	Association of Keap1 and Nrf2 Genetic Mutations and Polymorphisms With Endometrioid Endometrial Adenocarcinoma Survival.	門馬 靖武	卒後研修センター
Tohoku J Exp Med	Protective Effects of Recombinant Human Erythropoietin against Pressure Overload-Induced Left Ventricular Remodeling and Premature Death in Mice.	加賀谷 豊	卒後研修センター
Circ J	Trend of westernization of etiology and clinical characteristics of heart failure patients in Japan—first report from the CHART-2 study.	加賀谷 豊	卒後研修センター
胆と膵	【胆道・膵癌の治療 診療ガイドラインはどう変わるか?】膵癌における外科手術 適応・術式の動向	林 洋毅	消化器外科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臓臓	【臓臓・臓臓移植の現況と最新の研究】MRIを用いた移植臓臓の生着評価法	海野 倫明	消化器外科学分野
Int J Cancer	GC-binding factor 2 interacts with dishevelled and regulates Wnt signaling pathways in human carcinoma cell lines.	力山 敏樹	消化器外科学分野
Biochem Biophys Res Commun	Identification of epigenetically silenced genes in human pancreatic cancer by a novel method "microarray coupled with methyl-CpG targeted transcriptional activation" (MeTA-array).	海野 倫明	消化器外科学分野
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Impact of nodal involvement on surgical outcomes of intrahepatic cholangiocarcinoma: a multicenter analysis by the Study Group for Hepatic Surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	吉田 寛	消化器外科学分野
Oncol Rep	In vitro and in vivo antitumor effects of recombinant bispecific antibodies based on humanized anti-EGFR antibody.	林 洋毅	消化器外科学分野
Islets	Monitoring transplanted islets by high-frequency ultrasound.	坂田 直昭	消化器外科学分野
Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi	Neoadjuvant chemotherapy for pancreatic carcinoma.	力山 敏樹	消化器外科学分野
Islets.	Nerve growth factor is associated with islet graft failure following intraportal transplantation.	坂田 直昭	消化器外科学分野
Int J Clin Oncol	Paclitaxel as second-line chemotherapy in patients with gemcitabine-refractory pancreatic cancer: a retrospective study.	小野川 徹	消化器外科学分野
Dis Colon Rectum	Predictive factors for pulmonary metastases after curative resection of rectal cancer without preoperative chemoradiotherapy.	渡辺 和宏	消化器外科学分野
日本消化器外科学会雑誌	化学療法によって縮小した直腸癌多発肝転移をソナノイドTM術中USにて描出し肝切除術を行った1例	吉田 寛	消化器外科学分野
FEBS J	Construction and humanization of a functional bispecific EGFR x CD16 diabody using a refolding system.	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Distal pancreatectomy (with video).	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatogastroenterology	Lymph Nodes Metastasis is a Risk Factor for Bone Metastasis From Extrahepatic Cholangiocarcinoma.	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座
Hepatogastroenterology	Phase I trial of neoadjuvant chemoradiation with gemcitabine and surgical resection for cholangiocarcinoma patients (NACRAC study).	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Segmentectomy of the liver.	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座
日本消化器外科学会雑誌	浸潤性膵管癌切除後6年間無再発であった異時性浸潤性膵管癌の1例	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座
Mol Genet Metab	Simple and rapid genetic testing for citrin deficiency by screening 11 prevalent mutations in SLC25A13.	松原 洋一	遺伝病学分野

計 225

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入する

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 下瀬川 徹
管理担当者氏名	総務課長 富田 有一 ・ 医事課長 須田 仁

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部	病歴資料については、ターミナルデジットファイリング法にて、入院患者は1入院1カルテ、外来は1患者1ファイルで、最終診療日から15年間保存、カルテ室で一元管理している。処方せんについては、1日毎・処方の区別毎に管理、入院分は更に病棟別に管理している。エックス線写真については、1患者1ファイルで各診療科で管理している。その他については、各部署で月毎や年毎に管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	患者数関係については、月毎に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、月毎に集計、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・総務課等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課 及び医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 及び薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十体の第一項各号及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医薬品安全管理室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室		

年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 下瀬川 徹
閲覧担当者氏名	総務課長 富田 有一 ・ 医事課長 須田 仁
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	91.4%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	25,316人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,182人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,448人	
	D: 初診の患者の数	31,868人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内における安全管理に関する基本的な考え方● 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項● 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本関係● 院内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針● 医療事故発生時の対応に関する基本方針● 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針● 患者からの相談への対応に関する基本方針● その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医療に関する安全管理指針に関すること。(2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。(5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。(6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。(7) その他医療の安全管理等に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象医療安全講習会）● 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習（年 5 回）● 医療安全管理全般に関する定期講演会（年 2 回）● その他医療安全管理に関する研修会（随時）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。● 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。● 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (29) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療にかかる安全管理のための委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他の医療に係る安全管理のための委員会の庶務に関すること。 (2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (5) 医療安全にかかる連絡調整に関すること。 (6) 医療安全対策の推進に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染対策に関する基本的な考え方委員会等の組織に関する基本的事項職員研修に関する基本方針発生状況の報告に関する基本方針感染症発生時対応に関する基本方針指針の閲覧に関する基本方針その他の必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。● 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。● 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。● 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション）● 院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するDVD研修会）● 感染管理全般に関する定期講演会（年 5 回）● その他感染管理に関する研修会（随時）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有 ・ 無 ）・ その他の改善のための方策の主な内容： 「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 7 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">● 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修● 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修● 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務医薬品の管理に関する業務患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務患者に対する与薬	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医薬品安全管理室が医療安全巡視を実施 (年2回)病棟又は外来診療科への巡視を薬剤師が月1回実施医薬品添付文書改訂に伴う注意事項についての情報を通知	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年47回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○ 医療機器の有効性・安全性に関する研修○ 医療機器の使用法に関する研修○ 医療機器の保守点検に関する研修○ 医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する研修○ 医療機器の使用に関しての法令に関する研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (☑・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○ 始業点検・終業点検・日常点検・定期点検○ 施設内部点検○ 外部委託点検・ 上記保守点検についての<ul style="list-style-type: none">① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年の把握及び記録② 保守点検の実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検計画の見直し	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">○ 添付文書等の管理○ 医療機器関連情報の病院管理者への報告○ 月1回の「医療機器点検の日」実施による機器の点検及び院内の意識啓発	